



学校法人片柳学園



大学でも専門学校でも
片柳学園なら
多彩な進路が選べる!

KAMATA

HACHIOJI

学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 校友会誌

発行・平成29年8月31日

No.53

ひまた

◆◆ 実学主義で、人と未来をつなぐ 東京工科大学 ◆◆

蒲田キャンパス



デザイン学部 // **医療保健学部**
看護学科 / 理学療法学科 / 作業療法学科
臨床工学科 / 臨床検査学科

八王子キャンパス



工学部 // 機械工学科 / 電気電子工学科 / 応用化学科
コンピュータサイエンス学部 // **メディア学部** // **応用生物学部**

東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉 〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-925
〈八王子キャンパス〉 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-903
<http://www.teu.ac.jp/>



東京工科大学で学ぶ
〈学士〉取得

日本工学院から東京工科大学へ編入
〈専門士〉+〈学士〉取得

日本工学院で学ぶ
〈専門士〉〈高度専門士〉取得

◆◆ 専門力+人間力で就職力アップ 日本工学院 ◆◆



クリエイターズカレッジ

放送芸術科*
声優・演劇科
演劇スタッフ科 ●
マンガ・アニメーション科4年制 ◆**
マンガ・アニメーション科*
ゲームクリエイター科4年制 ◆**
ゲームクリエイター科*
CG映像科(3年制)

デザインカレッジ

グラフィックデザイン科(3年制)*
Webクリエイター科(3年制)
インテリアデザイン科(3年制)
プロダクトデザイン科(3年制)

ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科
プレイヤー/ヴォーカリスト/
サウンドクリエイターコース
コンサート・イベント科*
音響芸術科*
ダンスパフォーマンス科 ●

ITカレッジ

ITスペシャリスト科(4年制) ◆**
情報処理科*
パソコン・ネットワーク科*
情報ビジネス科*

テクノロジーカレッジ

ロボット科 ●*
電子・電気科*
一級自動車整備科(4年制) ●◆**
自動車整備科 ●*
環境・バイオ科 ●*
応用生物学科 ●*
建築学科(4年制) ◆**
建築設計科*
土木・造園科 ●*
機械設計科*

医療・保育カレッジ

医療事務科*
医療事務/診療情報管理士コース
鍼灸科(3年制) ●*
柔道整復科(3年制) ●*
臨床工学専攻科一年制 ●
こども学科 ●*
保育士/幼稚園教諭・保育士コース

スポーツカレッジ

スポーツトレーナー科三年制 ●*
スポーツトレーナー科 ●*
スポーツ健康学科三年制 ●*
ウェルネスインストラクター/
スポーツインストラクター/スポーツビジネス/
サッカー☆/テニス☆コース
スポーツ健康学科 ●*
ウェルネスインストラクター/
スポーツインストラクター/スポーツビジネス/
サッカー/テニスコース

☆2018年4月新設 *職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり **高度専門士付与学科
●日本工学院専門学校のみ設置 ●日本工学院八王子専門学校のみ設置

日本工学院

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351
日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700
<http://www.neec.ac.jp/>

姉妹校：日本工学院北海道専門学校



● 片柳理事長『旭日小綬章』受章 ●



平成29年春の叙勲において、本学園片柳理事長が『旭日小綬章』を授与されました。これは、永年に亘り私学教育の振興に貢献した功績が認められたもので、昭和60年の『藍綬褒章』に続いての受章となります。5月12日には、勲章の授与及び皇居にて拝謁の儀が行われました。

本年度は片柳学園創立70周年の記念すべき年でもあり、学園にとって大変喜ばしい幕開けとなりました。

表紙のことは

創立者・学園長・理事長・校友会名誉顧問 **片柳 鴻**



『稽古場』 1982(昭和57年)年 第14回日展入選作品

この作品は私の絵の先輩にあたる方より、他人があまり手掛けていないモチーフが望ましい、との助言を頂いて描いたものです。バレエの稽古場の様子が、ちょっと珍しい構図なのではないかと思いつりました。

場所はその当時の本校演劇科の稽古場。ここで将来ステージに立つことを夢みながら、青春のエネルギーを燃やしてレッスンに励む学生達を見つめ、その美しい姿を表現すべく制作に取り組みました。練習動作が素早く変わる学生を描くのは非常に難しいので、全面二人の学生に交互に2分程ポーズを作って静止して貰い描き上げました。アトリエでの制作中は上手くいったと思っていましたが、上野の美術館会場に展示されてみますと、他の作品と比較して人物の配置に工夫がなかったことを痛感しました。全国より集まる数千点の作品の中から厳しい審査の結果、入選を果たした日展の作品は、いずれも非常にレベルが高く、自分の創作活動の参考になります。

★ CONTENTS(目次)は巻末になります

Message



「母校の70年と校友会の50年」

校友会会長

桂田 忠明

放送技術部・36年卒業

セントラル電子制御株式会社・代表取締役

卒業生の皆様は、ご健勝にてそれぞれの分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。

母校の学校法人片柳学園は、今年、創立70周年を迎えることになり、来る10月13日にはグランドプリンスホテル新高輪「飛天」で創立70周年記念祝賀会が挙行されます。

戦地から帰還した創業者の片柳理事長は、国民の衣食住の余りの悲惨さを憂い、1944年に洋裁、編み物を学ぶ「創美学園」を創立しました。そして、1953年にテレビ放送が始まると優秀なテレビ技術者を育成する必要性を唱え、校名を「日本テレビ技術専門学校」に変えました、さらに1966年には、コンピュータ時代の到来を予想し、高額・大型コンピュータを教材として導入、ハード・ソフト開発技術者を養育する学科を増設、校名も「日本電子工学院」としました。現在は、これらに加え、クリエイター、デザイン、ミュージック、医療のカレッジを有する「日本工学院専門学校」として、我が国でも群を抜く専門学校となりました。近年、18歳人口が減少する中でも、本校においては入学生が増加しております。こうした発展を遂げているのは、ひとえに片柳理事長の教育に対する大きな理念と進取の気性のお陰であり、会員の皆様と一緒に感謝し祝福したいと思います。

同時に本校友会も、1967年に「研究会」の名でスタート以来、本年で50周年を迎えました。この間、1970年に「校友会」と名称を変更し、全国40支部のほか、韓国、台湾にも支部を置き、15万人超の卒業生および在校生を結び付けるとともに、会員の皆様にとって大いに役立つ組織へと発展してまいりました。こうした数多な支部を有する同窓会組織は、稀有なものであり、このように進展できたのも会員の皆様のご協力と、学園教職員のご支援の賜物であると感謝申し上げます。

校友会は、母校の創立70周年を祝い、会の創設50周年記念事業として、蒲田キャンパス庭園にモニュメント時計を贈呈することを6月10日開催の総会で満場一致で決めました。現在、その細部を業者、学園と協議中であります。10月28日の「かまた祭」までには完成させ、披露したいと考えておりますので、ご期待いただきたいと思います。

このように本校友会は、半世紀に亘る歴史を刻み、来年からは新たな歴史を作り出す歩みを始めます。新たなステージに立つといっても良いでしょう。私は、これを機に、各支部長、副支部長を含む校友会役員には、クリエイター、デザイン、ミュージック、医療の各カレッジ卒業生および女性を積極的に登用し、校友会そのものの改革を模索して行きたいと考えております。

会員の皆さまの校友会事業への積極的な参画と、これまで以上のご協力を切にお願い申し上げます。

Message



校友会誌 「かまたNo.53」にむけて

学校長
千葉 茂

校友会員の皆様こんにちは。

学校法人片柳学園は今年、創立70年目を迎え、記念すべく節目の年を迎えました。

昨年、キャンパスに誕生しました約4200人収容の「片柳アリーナ」では、今まで学外で行われていた卒業式、入学式を挙式することが出来ました。卒業式でも入学式でも、多数の保護者の皆様にご来場頂き、教職員一同嬉しさと共に、身の引き締まる思いが致しました。

この「片柳アリーナ」は授業やサークル活動で活用して頂くことはもちろんのことですが、外部からも大変ご注目を頂き、スポーツ競技や学会、イベント等に貸出しもっており、今後、皆様がメディア等でご覧になられる機会もあるかと存じます。機会があればぜひ多くの方に、母校を訪ねて頂きたいと思えます。

年々少子化が進み、学生確保に苦労するところが多い中で、この蒲田校に毎年多くの新入生を迎えられることは、卒業生の皆様が社会で活躍して頂いているお陰だと心より感謝申し上げます。

本校は皆様がこのキャンパスで学ばれていた頃と変わらず、教職員が一丸となり社会で通用する技術者の養成に取り組んでおります。近年は技術習得に加え想像力を醸成するユニークな授業にも挑戦し、学生のヤル気を引出し、自ら学ぶ意欲の高い学生の育成に力を注いでおります。そんな後輩を採用したいというお申し出があれば、お応えしたいと思いますので、お声掛け頂きたいと思えます。

今後は協働とかコラボレーションとか「つながり」が重要なキーワードとなりますので、是非、積極的に校友会活動にご参加頂けたら幸いです。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝と活躍を心より祈念申し上げます。

校友会だより

第28回

通常総会報告

第28回校友会通常総会は、今年も本校卒業生の相沢早苗さんの総合司会で始まりました。

最初に桂田会長、片柳理事長、千葉学校長にご挨拶をいただきました。続いて議長に植木敏郎副会長、副議長に野里和弘副会長を選出し、6つの議案が審議され、承認されました。

次回、第29回通常総会の開催を平成30年6月9日(土)に決め、閉会となりました。

総会終了後は3号館12階の学生ラウンジにて懇親会が行われました。教員による現在の学科のプレゼンテーションもあり、賑やかな会となりました。

日時 平成29年6月10日(土) 15:00~16:30
於 日本工学院専門学校
31005教室(3号館10階)
出席 42支部(支部長・副支部長)・顧問
挨拶 桂田 忠明 会長

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 理事長挨拶
4. 学校長挨拶
5. 議事審議
 - 第1号議案 平成28年度事業報告
 - 第2号議案 平成28年度収支決算報告および監査報告
 - 第3号議案 平成29年度事業計画(案)
 - 第4号議案 平成29年度収支予算(案)
 - 第5号議案 役員改選について(案)
 - 第6号議案 その他
6. 閉会



●平成28年度収支決算報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前期繰越	70,662,819	会誌「かまた」等制作費	11,646,990
校友会会費	30,504,000	総会諸費用	2,725,406
会誌「かまた」広告	330,000	地区支部長会議経費	1,830,309
受取利息	24	支部事業費	4,623,346
雑収入	118,767	準会員支援費	121,046
		ウェブサイト経費	1,671,840
		事務管理費	263,775
		人件費	1,090,513
		予備費	1,599,715
		支出の部計	25,572,940
収入の部計	101,615,610	次年度繰越	76,042,670

●平成29年度予算書

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
前期繰越	76,042,670	会誌「かまた」等制作費	13,500,000
校友会会費	31,536,000	総会諸費用	3,100,000
会誌「かまた」広告	300,000	地区支部長会議経費	2,550,000
受取利息	24	支部事業費	6,910,000
雑収入	0	準会員支援費	300,000
		ウェブサイト経費	2,500,000
		事務管理費	1,000,000
		人件費	4,265,433
		校友会50周年記念事業費	21,700,000
		予備費	500,000
		支出の部計	56,325,433
収入の部計	107,878,694	次年度繰越	51,553,261

校友会通常総会の詳細

- 開会 開会宣言：清田 茂信 副会長（熊本県支部）
- 会長挨拶：桂田 忠明 会長
- 理事長挨拶：片柳 鴻 理事長
- 学校長挨拶：千葉 茂 学校長
- 議長、副議長および議事録署名人（2名）の選出
【議長】植木 敏郎 副会長（新潟県支部）
【副議長】野里 和弘 副会長（青森県支部）
【議事録署名人】平井 康美（北海道支部）
尾崎 章夫（岡山県支部）
【書記】事務局
- 議案審議
【第1号議案】平成28年度事業報告
①校友会誌および校友会のしおり発行
②通常総会・支部会員の集いの開催
③同窓会の開催
④Webサイトの運営と企画
⑤その他
【第2号議案】平成28年度収支決算報告および監査報告
①収支決算報告書（上記詳細記載）
②監査報告（上記詳細記載）
【第3号議案】平成29年度事業計画（案）
①校友会誌および校友会のしおり発行
②通常総会・会員の集いの開催
③Webサイトの運営について
④校友会50周年記念行事について
【第4号議案】平成29年度収支予算（案）
【第5号議案】役員改選について
【第6号議案】その他
①校友会50周年記念行事について
②校友会としてのフェイスブックの本格運用に関して検討を行う
第29回通常総会の開催を平成30年6月9日（土）に予定する。
- 閉会
閉会宣言：奥川 宏 副会長（静岡県支部）

役員改選について

- 日本工学院専門学校校友会会則 第16条「役員及び代議員の任期」により、以下の方々が選出された。
1) 会長 [再] 桂田 忠明
2) 副会長 [再] 野里 和弘 [再] 植木 敏郎
[再] 奥川 宏 [再] 清田 茂信
3) 幹事 ①常任幹事
[再] 工藤俊一郎 [再] 藤本 昌之
[再] 廣瀬 憲治 [再] 遠山 一明
[再] 佐藤 充 [再] 只楚 洋樹
②会計幹事
[再] 藤本 昌之 [再] 大西 智之
4) 会計監査 [再] 平井 正博 [再] 山口 剛
- 日本工学院専門学校校友会会則第18条「名誉顧問及び顧問」により、顧問を委嘱した。
【顧問】[再] 平松 義雄 [再] 大谷 正勝
[再] 松尾 勇市 [再] 喜屋 武光信
[再] 佐藤 博治 [再] 大島 一博
[再] 大石 清彦
- 日本工学院専門学校校友会会則 第16条「役員および代議員の任期」及び日本工学院専門学校校友会役員選出に関する細則 第5条により各地区より選出された地区幹事が報告された。
【地区幹事】
○北海道・東北 地区：[再] 阿部富美雄
○関東・甲信越 地区：[再] 峯村 理雄
○東海・北陸 地区：[再] 石黒 明
○近畿・中国・四国 地区：[再] 中澤 広
○九州・沖縄 地区：[再] 穴見 誠

校友会通常総会等の様子

平成29年6月10日（土）に日本工学院専門学校において、全国42支部から校友会会員約14万2千人を代表する支部長が母校に来校され、第28回通常総会が開催されました。

記念写真撮影
14:40～14:50

3号館1階のエントランスホールで片柳理事長、千葉学校長を囲み記念写真を撮りました。



通常総会 15:00～16:30

今年の通常総会は、議長に植木副会長、副議長に野里副会長が選出され、6つの議案について審議が行われました。



懇親会 17:30～19:00

12階の学生ラウンジにおいて、千葉学校長はじめ教職員の方々と交え懇親会が行われました。



「校友会ラウンジ」利用規定

1 利用資格

- ① 日本工学院専門学校校友会会員および準会員。
ただし、準会員のみでの使用は出来ません。準会員が利用を希望する場合は、教職員が責任者となり、一切の管理責任を負っていただきます。
- ② 校友会会員が代表者または責任者である団体・グループ。
- ③ 学校法人片柳学園の教職員。
- ④ 日本工学院専門学校校友会会長が認めた者および団体・グループ。



2 利用目的

会議、待ち合わせ、親睦会など様々な目的で使用できますが、目的によっては、校友会事務局の判断でお断りする場合があります。
ただし、利益を得ることを目的とした事業ならびに政治活動・宗教活動を伴う集いには利用できません。

3 校友会ラウンジ概要

- 面積：約 116㎡ ○定員：40名
- 利用可能な設備：プロジェクター(パソコン・DVD接続可)、スクリーン、ホワイトボード、DVD、冷蔵庫、電気ポット、急須、湯飲茶碗。
- 設備の利用については、無料です。

4 利用時間

平日 10:00~17:00
学校が休みの時には、利用できません。
利用する場合は2週間前までに校友会事務局に届け、校友会事務局の承認を得なければなりません。また、校友会行事のある場合はこれを優先といたします。
上記時間以外の利用に関しては、校友会事務局にご相談ください。

5 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、校友会事務局にE-mail、FAX、郵便等でご提出願います。先着順で申し込みを受け付けます。ただし、校友会行事等を優先とさせていただきますため、使用をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

●申込用紙は校友会事務局
☎03-3732-8183
にご請求いただくか
ホームページをご覧ください。
<http://www.kouyukai.net/>

日本工学院専門学校 校友会会長 兼	
校友会ラウンジ利用申込書	
【申込日】	平成 年 月 日 ()
【受付日】	平成 年 月 日 ()
【使用申込書】	
氏名*	
所属学校	
所属学会	
役 名	
電話番号 (携帯番号)	
メールアドレス	
【使用者(責任者)】	
氏名*	
所属学校	
所属学会	
役 名	
電話番号 (携帯番号)	
メールアドレス	
【使用目的】	会議 親睦会 その他()
【使用日】	平成 年 月 日 ()
【利用人数】	人
【使用時間】	時 分 ~ 時 分
【入室時間】	時 分
【退室時間】	時 分
【申込者印】	承認印 承認印 承認印 承認印

「校友会について」より校友会ラウンジ利用規定及び使用申込(PDF)をダウンロードしてください。

校友会だより

平成28年度 支部会員の集い

岩手県支部

■設 立：平成2年10月23日 ■登録会員：811名
■支部長：阿部 富美雄 ■E-mail iwate@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 岩手県支部会員の集い

開催日：平成28年10月22日(土) 出席者：13名
会 場：盛岡市「ホテルロイヤル盛岡」

- 支部総会 18:40~18:50 進行 細川(幸)
 1. 事務局からの報告
◇新施設完成 ◇70周年奨学金について ◇住所変更のお願い
 2. 支部事業報告
◇会員の集い ◇地区支部長会 ◇フェイスブック開設について ◇片柳アリーナについて
 3. 収支決算について
 4. 役員改選 ◇全員再任
 5. その他
- 懇親会 18:55~21:00



福島県支部

■設 立：昭和63年11月18日 ■登録会員：1551名
■支部長：荒 俊之 ■E-mail fukushima@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 福島県支部会員の集い

開催日：平成28年9月17日(土) 出席者：14名
会 場：会津若松市「会津東山温泉 かつろぎ宿 千代滝」

- 支部総会 18:00~18:45 進行 荒支部長
 1. 開会挨拶 荒支部長
 2. 事務局からの報告
◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
◇現在の就職率と、就職支援のお願い ◇住所変更のお願い
◇専門職大学についての説明 ◇SNSについて
◇かまた祭について
 3. 役員改選について
◇副支部長 金成さん 櫻田さんの2名体制に
 4. 役員改選
◇副支部長の人数を3名から2名に変更
 5. 次回開催地について 次回は郡山地区で行うことにした。
- 懇親会 18:45~21:00



栃木県支部

■設立：昭和63年8月27日 ■登録会員：1402名
■支部長：三浦 専治 ■E-mail tochigi@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 栃木県支部会員の集い

開催日：平成28年9月24日(土) 出席者：7名
会場：佐野市「ホテル マリアージュ仙水」

●見学会 13:30~15:00 「田中正造旧宅」見学(6名参加)

●支部総会 15:15~16:15 進行 三浦副支部長

開会挨拶◇出席者への謝辞

1. 事務局からの報告

- ◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
- ◇現在の就職率と、就職支援のお願い ◇住所変更のお願い
- ◇専門職大学についての説明 ◇SNSについて
- ◇かまた祭について

2. 支部活動報告

3. 役員改選

4. 会則について

5. その他



●懇親会 16:15~18:15



群馬県支部

■設立：昭和63年7月4日 ■登録会員：1543名
■支部長：山口 剛 ■E-mail gunma@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 群馬県支部会員の集い

開催日：平成28年11月23日(水・祝) 出席者：22名
会場：前橋市「牛や清」

●支部総会 18:00~18:15

1. 開会挨拶 山口支部長 ◇出席者への謝辞

2. 役員改選 全員再任

3. 支部活動報告

- ◇昨年の懇親会について
- ◇群馬県支部のFacebook活用について

4. 学校からの報告

- ◇自己紹介 ◇学科紹介
- ◇70周年記念事業 片柳アリーナほか新施設の紹介
- ◇かまた祭の報告 ◇住所変更のお願い
- ◇校友会事務局Facebookのお知らせ

●講演会 18:20~18:45 講師：相沢早苗さん

テーマ「身体が笑えば心も笑う」講演



●講演会 19:10~20:45



福井県支部

■設立：平成4年11月27日 ■登録会員：165名
■支部長：山内 幸長 ■E-mail fukui@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第13回 福井県支部会員の集い

開催日：平成28年10月16日(日) 出席者：7名
会場：福井市「福井フェニックスホテル 養浩館」

●支部総会 12:00~12:40 進行 箕田副支部長

開会挨拶◇出席者への謝辞

1. 支部の活動報告

2. 会則改正・役員改選、その他

3. 事務局からの報告

- ◇新施設完成 ◇学校の現状について
- ◇70周年奨学金について ◇住所変更のお願い



●懇親会 12:55~14:40

活動報告にあった「片柳アリーナ完成記念公演」に参加された山内さんから、演奏会や片柳アリーナの様子などをご報告いただき、皆さんも口々に「行ってみたい」と仰っていました。また、在学時の同寮生を訪ねて北は北海道から南は沖縄まで行った山田さんのお話や、当時住んでいた蒲田寮(現在は女子寮)のお話など、懐かしいお話に話が弾みました。そして福井といえば越前ガニが有名ですが、以前、地区支部長会で越前ガニを食べに行った時の話や、いろいろなどところに出荷されているカニの中で越前ガニの見分け方など、地元ならではの話も伺う事が出来ました。最後は全員で記念撮影を行い、2年後の再会を祈念してお開きとなりました。



山梨県支部

■設立：平成6年5月28日 ■登録会員：975名
■支部長：名取 宏典 ■E-mail yamanashi@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第12回 山梨県支部会員の集い

開催日：平成28年11月6日(日) 出席者：8名
会場：甲府市「若館 甲府駅前」

●支部総会 12:00~12:35 進行 名取支部長

開会挨拶◇出席者への謝辞

1. 学校の現状

- ◇新施設について
- ◇70周年奨学金について
- ◇専門職大学について
- ◇入学者数について
- ◇就職の状況について

2. 役員改選

3. 会則改正

4. 校友会の活動報告



愛知県支部

■設立：平成4年11月12日 ■登録会員：346名
■支部長：朝日 洋子 ■E-mail aichi@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第13回 愛知県支部会員の集い

開催日：平成28年11月13日(日) 出席者：8名
会場：名古屋市「個室ダイニング水面月 名駅店」

- 支部総会 17:10～ 司会・進行 石川支部長
開会挨拶◇出席者への謝辞 ◇朝日副支部長のご挨拶で乾杯
1. 事務局からの報告
◇入学数と留学生について ◇70周年記念事業について
◇専門職大学(仮)について◇学校紹介
- 2. 会則改正
- 3. 役員改選
◇支部長：朝日(洋)
◇副支部長：朝日(教)(再任)、
河口(再任)、石川(新任)、樋口(退任)



●懇親会 17:50～21:00

2年ぶりの再会に現況を確認したり、連絡がつかない方の消息を確認したりと、旧交を温めあいました。その後、今年2月に愛知県で行われた「東海・北陸地区支部長会議」の報告がなされました。また、今回で参加の東さんが、今年、東京訪問時に蒲田校1号館撤去の様子をご覧になったことから、校舎や寮生活の思い出話、理事長が執筆された本についての話題で盛り上がりました。今回初参加の永田さんは、参加理由を次の様に話してくださいました。4～5年前に同級生の消息を尋ねる為、学校に行き、その際、現住所を再登録した。それ以降、支部会員の集い案内状などが届くようになり、今回初めて参加してみようと思ったとのことでした。賑やかに過ごした懇親会もあつという間にお開きの時間となり、記念写真撮影後、解散となりました。

兵庫県支部

■設立：平成5年5月28日 ■登録会員：198名
■支部長：新庄 吏奈 ■E-mail hyogo@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第12回 兵庫県支部会員の集い

開催日：平成28年10月1日(土) 出席者：6名
会場：「垂水アウトレット内 LOCHE MARKET STORE」

- 懇親会 ミニ取材スケジュール 9:30～16:00
「クルーザーで神戸の街を海から見てみよう!」
9:30 新西宮ヨットハーバー集合
9:45 「クルーザーで神戸の街を海から見てみよう!」へ出発
12:00 垂水アウトレット着・LOCHE MARKET STOREにて昼食
13:20 会員の集い開催
16:00 新西宮ヨットハーバーに帰港
新西宮ヨットハーバーにて会員の集い再開
記念写真撮影後解散(17:30)

●支部総会 13:20～14:00 / 16:05～17:20

- 開会挨拶◇出席者への謝辞 進行 新庄支部長
- 1. 学校からの報告(只埜)
◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
◇各カレッジの状況報告 ◇かまた祭について
- 2. 会則改正
- 3. 役員改選
- 4. その他



鳥取県支部

■設立：平成4年8月7日 ■登録会員：179名
■支部長：吉村 哲正 ■E-mail tottori@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

島根県支部

■設立：平成4年8月8日 ■登録会員：166名
■支部長：藤原 義広 ■E-mail shimane@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第13回 鳥取県・島根県合同支部会員の集い

開催日：平成28年11月5日(土) 出席者：11名
会場：米子市「米子 全日空ホテル」

- 支部総会 15:00～15:45 進行 吉村支部長
1. 開会挨拶 鳥取県 吉村支部長
◇出席者への謝辞
- 2. 事務局からの報告
◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
◇現在の学科と就職支援のお願い ◇住所変更のお願い
- 3. 会則改正
- 4. 議事(鳥取県支部)
◇役員改選・会則改定
◇地区支部長会の議題について

- 講演会
◇米子山陰放送太陽光発電所トピックス
(前回の集いで行われた講演会の続報)
◇最近の放送事情

●懇親会 17:30～19:45



徳島県支部

■設立：平成2年9月5日 ■登録会員：119名
■支部長：坂東 嘉彦 ■E-mail tokushima@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 徳島県支部会員の集い

開催日：平成28年10月15日(土) 出席者：8名
会場：徳島市「ザ・グランドパレス徳島」

- 支部総会 18:00～18:45 進行 岡本支部長
開会挨拶◇出席者への謝辞
1. 事務局からの報告
◇入学数について ◇就職の状況について
◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
◇専門職大学について
- 2. 役員改選
- 3. 会則改正
- 4. その他

●懇親会 18:45～20:30

岡本支部長から退任の挨拶と坂東新支部長の就任の挨拶が行われました。坂東新支部長からは「引き受けた以上は一生懸命努めさせていただきます」と意気込みを皆さんに表明されました。その後、参加者の中で最年長の上野さんの乾杯の挨拶で、親睦会が始まりました。二年ぶりにご参加の方、又、それ以上久しくお会いしなかつた方との再会に旧交を温めあい、徳島の郷土料理を楽しみながらの親睦会となりました。現在の仕事や、隠退後の生活について、また蒲田校の旧校舎での思い出話に盛り上がりました。最後に閉会の挨拶として、前支部長より新支部長の坂東さんへ「良い人が引き受けてくれたと思います。期待しています!」との言葉がありました。その後、顧問の佐藤さんから皆さんへ参加への謝辞と共に「新支部長よろしくお願ひ致します」との言葉で、懇親会は閉会しました。



香川県支部

■設立：平成2年9月11日 ■登録会員：151名
■支部長：渡辺 博文 ■E-mail kagawa@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 香川県支部会員の集い

開催日：平成28年8月6日(土) 出席者：8名
会場：高松市「天勝 本店」

●支部総会 18:15~18:30 進行 渡邊支部長

- 開会挨拶 ◇出席者への謝辞
- ◇集い案内封筒の「同窓会」という表記について
- ◇新施設「片柳アリーナ」完成
- 1. 事務局からの報告
 - ◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
 - ◇現在の就職率と、就職支援のお願い
 - ◇住所変更のお願い
- 2. 役員改選
- 3. 会則改正



●懇親会 18:30~21:00

支部長 渡邊さんの乾杯から懇親会が始まり、瀬戸内の美味しい魚介をいただきながらたくさんのお話で盛り上がりました。インターネットの普及により、今では東京と同じタイミングで視聴できる番組も増えてきたこと。旧3号館で過ごした学生生活の話。そして一番盛り上がったのはやはり香川県らしい「うどん」についての話でした。前回香川県へ行った時にうどん屋1軒目でお腹いっぱいになってしまった話をしたところ、効率のいい食べ方やおすすめのお話をたくさん教えていただきました。お料理の最後に香川県産のフグ「讃岐でんぶく」をいただいて、お開きになりました。

愛媛県支部

■設立：平成2年8月7日 ■登録会員：195名
■支部長：二宮 清次 ■E-mail ehime@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 愛媛県支部会員の集い

開催日：平成28年10月22日(土) 出席者：10名
会場：松山市「いよてつ会館 4F カトレア」

●支部総会 18:00~ 進行 二宮支部長

- 開会挨拶 ◇出席者への謝辞 ◇本日の予定について
- 1. 事務局からの報告
 - ◇配布資料の説明 ◇70周年記念事業の説明・新施設完成
 - ◇70周年奨学金について ◇入学者数
 - ◇就職についてなど
- 2. 支部活動報告
 - ◇3月 地区支部長会
 - ◇6月 通常総会
- 3. 会則改正
- 4. 役員改選
- 5. 今後の課題について
 - ◇意見交換



●懇親会 18:40~21:00

二宮支部長の乾杯で懇親会がスタートし、食事をしみつつ皆様それぞれ歓談されておりました。その後、参加者の皆様の近況を順に報告していただきました。内容としては…「愛媛の地場産業であるタオル産業が『今治タオル』としてブランド化され盛り返してきた。」「FM愛媛を含めラジオ自体のリスナーが減少している。」「家電修理業をやめたが、親の代から長年続いていた為、今でも修理依頼があり、頑張っている」など、お仕事に関するお話。更に、「ご家族のお話」や「定年後の趣味(トリアスロン)のお話」、「新たな区切りの年齢に際し、資格取得の為、頑張っている」など、様々なお話を伺いました。「半年ほど前に蒲田に行ったが、当時の面影がなくなっていた」など、蒲田の街や校舎の話等、皆さんからの質問に答えながらの近況紹介となりました。最後に、顧問の豊島さんのご挨拶で「再会の約束」をし、お開きとなりました。

高知県支部

■設立：平成2年9月13日 ■登録会員：198名
■支部長：高野 雅勝 ■E-mail kouchi@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 高知県支部会員の集い

開催日：平成28年11月26日(土) 出席者：10名
会場：高知市「高知会館」

●講演会 16:30~17:30

テーマ「SNSの活用法、裏技など」 講師：東堂 隼平

●支部総会 17:30~18:00 進行 高野支部長

1. 開会挨拶 高野支部長
2. 学校からの報告
 - ◇70周年記念事業について ◇入学者数、就職状況の説明
 - ◇専門職大学についての説明
3. 支部活動報告
 - ◇高知県支部内の活動
 - ◇校友会全体
4. 役員改選

●懇親会 18:15~20:30



福岡・佐賀県支部

■設立：昭和63年10月25日 ■登録会員：468名
■支部長：穴見 誠 ■E-mail fuku_saga@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 福岡県・佐賀県支部会員の集い

開催日：平成28年10月1日(土) 出席者：10名
会場：福岡市「八仙閣 本店」

●支部総会 18:00~18:30 進行 渡邊副支部長

- 開会挨拶 穴見支部長 ◇出席者への謝辞
- 1. 学校・事務局からの報告
 - ◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
 - ◇専門職大学についての説明 ◇SNSについて
 - ◇住所変更のお願い
- 2. 参加者自己紹介
- 3. 支部活動の報告
 - ◇Facebookや校友会HPの閲覧推奨
 - ◇校友会誌「かまた」同封の福岡県・佐賀県支部だよりについて
- 4. 会則改正 今回はなし
- 5. 役員改選 今回はなし
- 6. 今後の課題について
 - ◇来年の集いについて
 - ◇佐賀県として独立した支部を立ち上げるのはいかがでしょうか

●懇親会 18:30~21:00



長崎県支部

■設立：平成4年7月10日 ■登録会員：310名
■支部長：釘山 威 ■E-mail nagasaki@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第13回 長崎県支部会員の集い

開催日：平成28年11月12日(土) 出席者：9名
会場：長崎市「ホテルセントヒル長崎」

- 支部総会 17:00~17:45 進行 釘山支部長
 1. 開会挨拶 釘山支部長
 - ◇出席者への謝辞
 - ◇昨年亡くなられた田中副支部長を偲び黙祷
 - ◇九州・沖縄ブロック長 清田氏 紹介 ◇片柳アリーナの話
 2. 事務局からの報告
 - ◇新施設完成 ◇70周年奨学金について
 - ◇現在の学科と就職支援のお願い ◇住所変更のお願い
 - ◇事務局Facebook紹介
 3. 来賓挨拶
 - ◇九州・沖縄ブロック長 清田氏
 4. 役員改選
 - ◇古賀さん、岡さんが新副支部長に就任



●懇親会 17:50~20:20

懇親会は、九州・沖縄ブロック長の清田さんの乾杯から始まりました。清田さんが熊本県出身ということで、今回のお料理は熊本県の郷土料理がたくさん並びました。皆さんが学生の頃の思い出として挙げていたのは、当時、2号館にあったスタジオにきた芸能人の話が多く、「誰が来たかによって年代が分かる」と盛り上がりました。また、4月の熊本地震の話を受けて、1991年の雲仙普賢岳噴火や1792年の島原大変肥後迷惑(雲仙岳の火山性地震および眉山の山体崩壊と、それに起因する津波が肥後国を襲った災害)の話など、災害の影響や対策について皆さんで話し合われました。最後は最年長の田川さんにご挨拶(ご家族や会社関係の方に日本工学院を勧めた話など)いただき、解散となりました。



宮崎県支部

■設立：昭和63年10月21日 ■登録会員：343名
■支部長：川添 守 ■E-mail miyazaki@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 宮崎県支部会員の集い

開催日：平成28年11月26日(土) 出席者：20名
会場：宮崎市「ホテルマリックス」

- 支部総会 17:45~18:40 進行 安楽副支部長
 開会挨拶◇出席者への謝辞
 1. 開会宣言 川越副支部長
 2. 支部長挨拶 川添支部長
 - ◇出席者への謝辞 ◇新施設について
 3. 来賓紹介 事務局
 4. 議長選出 谷口副支部長
 5. 議事
 - ◇新施設完成 ◇学科紹介 ◇かまた祭の報告
 - ◇住所変更のお願い ◇地区支部長会
 - ◇蒲田校にて開催イベント ◇支部役員会
 6. 役員改選
 - ◇岡崎(真)さんが副支部長に就任
 7. その他
 - ◇参加呼びかけについてのお願い
 - ◇支部の集い開催時期について
 - ◇校友会事務局Facebook開始について
 8. 閉会宣言 安楽副支部長



●懇親会 18:50~21:00



熊本県支部

■設立：昭和63年10月24日 ■登録会員：316名
■支部長：清田 茂信 ■E-mail kumamoto@kouyukai.net又はkoyukai@stf.neec.ac.jp

第14回 熊本県支部会員の集い

開催日：平成28年11月19日(土) 出席者：13名
会場：熊本市「メルパルク熊本」

- 支部総会 18:10~19:00 進行 松本副支部長
 開会挨拶 清田支部長
 - ◇出席者への謝辞 ◇震災のスクラップブックについてのご説明
 - ◇記念写真撮影
 1. 学校からの報告
 - ◇熊本地震のお見舞い ◇自己紹介 ◇新施設の紹介
 - ◇来年創立70周年を迎えられる理事長のご様子
 - ◇現在の人気学科、入学者数、留学生の増加について
 - ◇就職について ◇専門職大学について
 - ◇校友会事務局SNS(Facebook)について
 2. 会則改正 今回はなし
 3. 役員改選 ◇幹事 上田さん解任(ご逝去の為)



●懇親会 19:00~21:00

柏木さんより、「今年は熊本地震があったが、例年以上の人数が集まった。とてもうれしいことで、これからもよろしくお願ひ致します!」とご挨拶いただき、乾杯。その後、数年ぶりの再会に旧交を温めあい、今回、初参加された方のお話で盛り上がりました。その後、卒業後の仕事や趣味のお話など、それぞれのお話を聞きながら皆さんから質問や意見などが飛び交いました。ちなみに、今回初参加のきっかけは奥様からの提案(集い案内に興味を持ち、ご主人を誘った)との事でした。「近況報告」では、熊本地震での体験、その後にご苦労されていること、復興のために頑張っていることなど、皆様のご苦労や工夫などが偲ばれ、また情報交換にもなり、大変貴重なお話を聞かせて頂きました。最後に鶴田カレッジ長から「校友会の暖かい雰囲気や皆で共有し、広げて欲しい。学校としても応援して行きたい」とのご挨拶で締めとなりました。



校友会「支部会員の集い」の詳細は、下記ホームページでもご覧になれます。
<http://www.kouyukai.net/>

支部会員の集いは2年に一度開催されます。総会では役員改選の後、支部活動についてのご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会では地元の校友との情報交換やネットワークづくりの活発化を図ってまいります。また、講演会、研修

会、見学会、レクリエーションなどを積極的に企画している支部もあります。

お知り合いの校友、姉妹校(八王子校・北海道校・東京工科大学)の卒業生をお誘いのうえ、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
北海道支部	9月9日(土)	札幌市	平井 康美
岐阜県支部	9月16日(土)	岐阜市	番場日出喜
三重県支部	9月17日(日)	四日市市	平井 正博
静岡県支部	9月18日(月・祝)	静岡市	奥川 宏
青森県支部	9月23日(土)	青森市	野里 和弘
合同開催 京滋支部	9月30日(土)	大阪市	菅原 進
近畿支部	9月30日(土)	大阪市	中澤 広
秋田県支部	10月7日(土)	秋田市	高橋由紀夫
岡山県支部	10月7日(土)	岡山市	尾崎 章夫
広島県支部	10月8日(日)	広島市	福岡 孝司
山口県支部	10月9日(月・祝)	山口市	早川 一夫
石川県支部	10月21日(土)	金沢市	山岸 誠次
首都圏支部	10月28日(土)	蒲田校	桂田 忠明
富山県支部	10月28日(土)	蒲田校	石黒 明
長野県支部	11月4日(土)	諏訪市	峯村 理雄
新潟県支部	11月5日(日)	糸魚川市	植木 敏郎
茨城県支部	11月5日(日)	水戸市	廣瀬 憲治
大分県支部	11月11日(土)	大分市	佐藤 浩
鹿児島県支部	11月18日(土)	鹿児島市	久山 順一
宮城県支部	11月18日(土)	仙台市	清水 幸男
山形県支部	11月19日(日)	山形市	樋口 祐七
沖縄県支部	11月25日(土)	那覇市	徳田 永伸
韓国支部	調整中		呉 治明
台湾支部	調整中		唐 偉倫

卒業生の集まる会
※日程は都合により変更することがあります。

- 鳥取県支部/島根県支部(合同) 情報交換会 ……11月4日(土) 於: 松江市
- 福岡・佐賀県支部 懇親会 ……11月19日(日) 於: 場所未定
- 愛知県支部 懇親会(忘年会) ……11月25日(土) 於: 名古屋市
- 群馬県支部 懇親会 ……12月2日(土) 於: 高崎市
- 岩手県支部 懇親会 ……日程未定 於: 岩泉町
- 兵庫県支部 懇親会 ……日程・場所未定
- 高知県支部 懇親会 ……日程・場所未定
- 宮崎県支部 懇親会 ……日程・場所未定

片柳学園創立70周年

校友会設立50周年

各支部長からの祝辞

「片柳学園創立70周年」「校友会設立50周年」を迎えることとなりました。70周年、50周年を記念して全国の支部長からいただいた祝辞を紹介いたします。

北海道支部

支部長 平井 康美



片柳学園創立70周年ならびに校友会設立50周年おめでとうございます。私も本校を卒業(S57年卒)し早34年が経ち、もうじき定年の年を迎えます。この度、学園創立70周年を迎え、新校舎、施設も完成し次の時代に進んでいくのだと歴史を感じます。片柳学園は常に時代の先々を考え、最新の設備、学びやすい環境を備えた自慢できる学校です。ひとえに片柳理事長の熱い学びへの情熱とそれを学生達に伝える教職員の方々のお陰です。ありがたく感謝しております。今後も今の時代に必要とされる人材の育成に学園を発展させてください。私達OBも学園の発展に微力ながらお役に立てるよう頑張っております。

青森県支部

支部長 野里 和弘



満83歳青森の野里です。片柳学園創立70周年と校友会設立50周年記念のご案内を賜り感無量の喜びです。片柳鴻理事長の理念である「理想的教育は理想的環境から」をモットーに21世紀の今日益々発展してもらえること、本当におめでとうございます。大正9(1920)年10月8日生まれ、満97歳の片柳鴻先生万歳～万歳～万歳と、声高らかに叫んだ次第です。「78年の蘇る記憶をたどる 片柳学園70年の歩み」を拝見して、まことに片柳鴻理事長の偉大なる功績に触れることが出来、多大なる幸せを感じております。1985年の藍綬褒章の受章、本年2017年の旭日小綬章の受章本当におめでとうございます。

岩手県支部

支部長 阿部 富美雄



片柳学園がここに創立70周年、校友会設立50周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。記念すべきこの年にあたり、本学園が70年という歴史を記録に残し、将来に向かい継承し、発展させることは大変意義深く素晴らしいと感じております。また、約20万人もの卒業生が国内外で活躍していることは誠に誇らしく思います。これら卒業生の親睦を深め、学園発展の一躍を担っている校友会活動も大きな成果を上げてきております。本学園並びに校友会が、これからもさらに、新しい挑戦を積極的に実践され、更なるご発展を心からお祈り申し上げます。

宮城県支部

支部長 清水 幸男



日本工学院専門学校70周年をお迎えし、心よりお祝い申し上げます。私は、日本工学院専門学校 サービス技術科 25期を卒業した後、ボウリング場メカニク、制御盤設計施工やパソコン操作プログラミングの教育、SONYテレビ修理等に携わりました。

現在はこれらの経験を活かし、会社運営の補助を行っております。この間に日本工学院専門学校・校友会 宮城県支部長を担い、早いもので30年が経ちました。今後も、宮城県支部長として、校友会の発展と卒業生の繁栄のため、精一杯尽力させていただきます。最後に、重ねてお祝いの言葉とさせていただきます。

秋田県支部

支部長 高橋 由紀夫



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。私は本校で当時の電子工学科において、昭和53年から2年間お世話になりました。現在は校友会秋田県支部長という立場で本校と関わっておりますが、毎年6月に開催される校友会通常総会を通して片柳理事長、千葉学校長、桂田校友会会長のご挨拶を拝聴することで、本校の教育理念や方針等が、関係者の方々のご努力と共に、本校および校友会の

現在の発展の原点であることを改めて実感しております。
在校生の皆様には、この素晴らしい教育環境を上手に活用し、それぞれの目標に向かって、夢が叶うよう邁進して欲しいと願わずにはられません。

山形県支部

支部長 樋口 祐七



学校法人片柳学園 創立70周年、校友会設立50周年大変おめでとうございます。
私、昭和40年4月より、放送技術部にお世話になり、卒業時設立した校友会も50年になりました。昭和40年はNHKドラマ“ひよっこ”を見て、当時を思い出していました。東京

オリンピックも終わり、カラーテレビ(真空管式)ブームが本格的な時代に入り、当学園の新しい2号館校舎で学び、地下の学生食堂を利用していました。講師の先生は電機メーカーの研究開発の方の講義等、実務経験の豊富な講師でわかりやすく、講義はほとんど欠席無しで過ごしたと記憶しています。当時は電子工学全盛期、その後コンピューター(IT)時代、公害問題、時代と共に変化する社会のニーズに合った学部、学科の新設は、理事長の高邁な理念が、学園発展の礎になったと思います。卒業生として、これからも片柳学園、校友会の更なる発展を祈り申し上げます。

福島県支部

支部長 荒 俊之



片柳学園創立70周年、校友会設立50周年、おめでとうございます。
片柳理事長をはじめ、役職員の皆様のご尽力に改めて敬意を表しますとともに、創立70周年、校友会設立50周年という節目を契機に日本工学院専門学校が今後ますます発展

されますことを心からお祈り申し上げます。

栃木県支部

支部長 三浦 専治



片柳学園創立70周年および校友会創立50周年まことにおめでとうございます。
私は、昭和39年カラーテレビ技術をマスターし、テレビ放送関係業界に転職を目指して、当時の放送技術部で勉強し人生を技術者として築き上げ、今日までの人生があるのは、

まさに電子工学院専門学校のおかげであると思っております。
片柳理事長の人生の歩み、若者に学びの場を設け多くの卒業生を輩出してきた功績と、校友会総会時のお話、片柳学園70年の歩みからも汲み取れる、果敢なチャレンジ精神力に対して心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます次第です。

茨城県支部

支部長 廣瀬 憲治



片柳学園創立70周年及び校友会設立50周年 心よりお喜び申し上げます。
私、卒業して早45年。当時3号館が竣工してすぐの入学でした。その当時、まだ他校にも高層の校舎など少なく、誇らしく通ったことを思い出します。

そして今、当時以上の校舎、設備が完成しており、学生の皆様におかれましても、気持ちよく勉学に励んでおられることと思います。

微力ではありますが、校友会活動に積極的に参加をさせて頂きたいと思っております。

簡単ではございますが、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

群馬県支部

支部長 山口 剛



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。
前任の支部長から引き継いで私は、17年目になります。私が在籍していた頃は、昭和から平成に変わる時でした。現在の新校舎ができる前になります。毎年通常総会で蒲田校

に来るたびに校舎が少しずつ変化していくのが、寂しいやら嬉しいやら。感慨深い時間でした。群馬県支部の歴史を紐解くと、現在は80代の大先輩から20代の後輩まで支部総会に来てくれる、年齢層の広い支部になりました。支部長を支えてくれる先輩が多く、また、学科もその時代の先端を学んできた仲間が集まれば話題が豊富で、時間があっという間に過ぎてしまいます。最近では群馬県支部のFacebookサイトを立ち上げ、全国で一番早く支部で運用しております。今後も積極的に支部を発展させていきたいと思っております。

新潟県支部

支部長 植木 敏郎



片柳学園創立70周年、および本校校友会設立50周年おめでとうございます。
78年の蘇る記憶をたどる「片柳学園70年の歩み」を拝読しました。片柳理事長の歴史の重みに感銘いたしました。これからも学園、校友会共に世界の発展の波に乗って科学

文化の移り変わりを捉えて前進していくことをお祈り申し上げます。



富山県支部

支部長 石黒 明



片柳学園創立70周年並びに校友会設立50周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。
また在学時には、諸先生方の熱心なご指導にも改めて感謝申し上げます。

片柳学園の70周年を新たな飛躍の出発点とし、益々の発展を心から願ってお祝いの言葉といたします。

石川県支部

副支部長 正田 隆浩



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年、誠におめでとうございます。
70年間において、各方面に貢献する優秀な人材を世に送った実績と、学校関係者様が常に時代の最先端を走る姿勢に敬意を表するとともに、50年間の校友会会員皆様の大変な支援に感謝し、母校の更なるご発展を心より願っています。簡単ですがお祝いの言葉とさせていただきます。

福井県支部

支部長 山内 幸長



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。
このような節目に居合わせて幸せを感じています。
卒業して40年以上経っていますが、未だに当時の学校の様子を鮮やかに思い出します。当時はボウリングが流行っており、中山律子選手などが活躍していた時代です。

その頃、ボウリング場が学内に設けられており、学生で結構賑わっていました。今は有りませんが、このように、学校はどんどん変わって行きます。時代に合わせ変わって行きます。変化の結果、現在の学校は眩しいばかりです。これからもますます変化を遂げながら発展される事を祈念して、祝辞と致します。

山梨県支部

支部長 名取 宏典



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年をお喜び申し上げます。
約30年前の平成元年卒業の私にとってこれほど長く学校が続いていることは、驚きでもあり誇りでもあります。これは、当時悲惨な戦争を経験された理事長がこれからの日本における学校教育の重要性を認識し、揺るぎ無い信念を貫いた結果ではないでしょうか。また、世の中のニーズに合わ

せ、新学科の設立や今までの学科の廃止等を上手に行ってきたためと思われます。これからも益々発展していくことを期待し、温かく見守り続けていきたいです。

長野県支部

支部長 峯村 理雄



今年は片柳学園と校友会が記念すべき年になったことに、心からお祝い申し上げます。
私にとっても偶然とはいえ、片柳理事長が最初の創美学園を創立された年に生まれ、今年で七十歳の古希を迎えました。また、校友会が設立された年は、私が卒業した年でもあり

ました。その時の校名は、日本電子工学院でした。そんなことから、片柳学園とは不思議な御縁があったのかと思っております。毎年行われる校友会の通常総会では片柳理事長のお元気なお姿とお話、そして、ますます立派になった学舎を拝見するたびに、英気をいただいております。学校を卒業後、テレビ局関係の仕事に就き、定年まで仕事を続けてこられたことも、片柳学園で学んだことが多いに役立ちました。これからも、母校と校友会の益々の御発展を祈念しております

岐阜県支部

支部長 番場 日出喜



片柳学園創立70周年・校友会設立50周年おめでとうございます。
今年69才になった私とほぼ同じだけの歴史を持つ学校で青春を過ごせた事を誇りに思います。

私の場合は長男も長女も同じ学園で育ち、二人とも親と同じ道を歩みました。

子どもの時から番組制作とは?とか、イベントとは?と言うのが親子の会話だったのかも知れません。

多くの専門学校がある中でこれだけ学園の運営に力を注がれ、多くの卒業生を輩出されてきた学校関係者の皆さんに敬意を表します。

私はまだ現役で番組制作をしていますが、色々な現場で同窓生に出くわす事もしばしばです。

今後とも時代の流れに取り残される事なく優秀な人材を送り出して頂けると確信しています。

静岡県支部

支部長 奥川 宏



片柳学園創立70周年おめでとうございます。多くの学友を育ていただきました。私の電子工学科26期(昭45～46)の学習が、電電公社への採用につながり、第1級無線技術士の取得も学園があったからこそです。1技はプライドでした。本年3月に45年間の社

会人人生を引退しましたが、学園に感謝しています。

校友会設立50周年に静岡とのご縁をひとつ。校友会誌「かまた」の題字は、静岡市出身の人間国宝「芹沢銈介」氏です。校友会事務局に芹沢美術館への取材をお願いします。

愛知県支部

支部長 朝日 洋子



●片柳学園70周年に想う

昭和22年理事長は創美学園を創設されました。それは洋裁学校で私には工学院とは懸け離れていて理解出来ませんでした。

それが分かったのはNHK朝のテレビ小説「ト姉ちゃん」を見た時でした。

当時着物が欠乏し洋裁は社会的ニーズであり、理事長は社会的ニーズに応える学校を創られたのでした。

私はこの事が片柳学園の原点と思います。

昭和29年テレビ学校開校時には質屋通いまでして学校を守られました。

そして今、片柳学園は21世紀を担う若者を国際人として育成する理想的な環境と充実した設備を持つ学校となりました。

これは理事長始め諸先生方の弛まぬ努力の賜物であると存じます。

創立70周年誠におめでとうございます。

三重県支部

支部長 平井 正博



記念祝辞として、私事で大変恐縮ですが一言述べさせていただきます。

昭和44年頃、高校生だった私は、東京の電子工学の専門学校に進学しようと考えていました。その頃、渋谷・池袋・上野・蒲田と各地に同種の学校があり資料等で学校を選択、

その中でも第一級無線技術士の予備試験の免除校である蒲田を選択して、高校3年生の夏休みに父と上京、学校見学をして決定。翌4月入学しました。当時は以前の3号館の7階が教室でした。その後10期研究科を卒業、理事長様や諸先生のお陰もあり、教職員として勤務もさせて頂きました。その後、郷里の三重県に戻りました。

時は過ぎ、今このように学園がますます発展し、母校が大きくなって行く事に喜んでます。高校生の時、もし違った学校選択をしていたら母校も無くしていたかもしれません。一卒業生として、ますますの学園の御発展を祈念致します。

京・滋支部

支部長 菅原 進



この度は、片柳学園創立70周年、および本校校友会設立50周年記念を祝して心よりお祝い申し上げます。

創立70周年と一言で言っても1947年で、まだ戦後2年しか経っておらず、世の中にはものも何もない時代に学校を創立されたこと

とは、大変な偉業を成し遂げられたと思います。

また校友会も設立50年で今も継続しています。私は校友会活動を通して、片柳理事長のお話を聞く機会を幾度か頂いています。

創業の時のご苦労、また運営継続のご苦労話には、その都度感銘を受けています。

今の時代でも何かを創業させようと思えば、強い志と、資金等が無い中ではなかなか実行に移すことは出来ません。

まして戦後の食べ物すらない時に、工学系の学校を作られたことは本当に先見性の眼もお持ちであったと思います。

理事長は卒業生のみならず「肩身の狭い思いをさせたくない」と口癖のように言われて、常に学生の事を考えて頂いています。ここ数年で蒲田校を含む工学院の建物、設備、就職、人材が飛躍的に良くなり世の中でのステイタスも向上していると思います。

卒業生としては本当に感謝しています。

これから卒業される若い人は、世の中にはOBが多くいます。ぜひ情報を持って自分の人生のプラスにしてください。片柳理事長本当にありがとうございました。

近畿支部

支部長 中澤 広



片柳学園が設立70周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。

また在校時には、諸先生方の熱心なご指導にも改めて感謝申し上げます。

私は、卒業して39年が過ぎました。当初は大学に入学出来なく、父親、親戚が技術者でしたので、卒業後の進路を考え、日本工学院専門学校に入学しました。現在、大阪梅田で不動産管理、賃貸事業、駐車場、ビジネスホテル等の仕事をしております。近畿支部校友会では、70代を筆頭に幅広く社会を支え、各方面で活躍する先輩と世代を超えた交流と親睦をしております。新たな飛躍の出発点とし、益々の発展を心から願いお祝いの言葉と致します。



兵庫県支部

支部長 新庄 吏奈



この度は、日本工学院専門学校の創立70周年及び校友会設立50周年を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。

60周年を迎えこの10年で校舎の建て替えやアリーナの建設等、素晴らしい勢いで成長されたのは片柳理事長の決断、実行力の賜物ではないかと思

います。

また、校友会も海外を始め全国に各支部を置き年齢、卒業年度や学科に関係なく交流が出来る環境が与えられているのは会長を始め、諸先輩方の御蔭と思

います。未筆ながら、日本工学院、校友会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

鳥取県支部

支部長 吉村 哲正



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。

少子化などにより経営不振におちいる学校が多い中、本校が常に発展し続けているのは、理事長をはじめとする学園スタッフの皆様、顧客ニーズを的確に捉え、時代を先取りした経営戦略のたまものと思

島根県支部

支部長 藤原 義広



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。

島根支部長の藤原です。昨今の少子化により学校経営が難しくなるなか、確実に発展している本校のお手伝いをさせて頂き嬉しく思っています。これからのさらなる発展に少しでも貢献させていただきたく所存です。よろしくお願

岡山県支部

支部長 尾崎 章夫



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとう御座います。心からご祝辞を申し上げます。

私も40余年前、片柳学園で学ばせて頂いた一人として当時に想いを馳せると蒲田駅、蒲田の街、学園の建物、教室、寮、学友の顔や

名前が懐かしく思い出されます。片柳学園の70年の歴史の中で校名が日本電子工学院から日本工学院専門学校に改名された時でした。

片柳鴻著「片柳学園70年の歩み」を拝読させていただきました。

6年にも及ぶ軍隊生活、終戦、復員、戦後の混乱していた時に理事長は人の教育、技術革新を考えておられ昭和22年片柳学園の前身である「創美学園」を設立されました。70年前の事です。それから多くの人の協力を頂きながら多くの難問を克服され現在の学園を作り上げられました。著書のあとがきで「我が国が先進国家として繁栄したことは、本校卒業生がその一端を担っている事を本校の誇りとすることであり

ます。」と記されています。私も片柳学園日本工学院専門学校の卒業生であることを誇りに思います。

2年前から校友会の仕事をさせて頂く事になり蒲田のキャンパスに伺いました蒲田駅周辺の変貌そして学校の立派な建物とその堂々とした姿に感激しました。昨年は片柳アリーナの完成を目の当たりにしました。そして記念コンサートにご招待して頂き本当に有難うございました。

理事長先生の元気なお姿が長く拝見できます事、片柳学園、校友会の益々のご発展をお祈り致します。

広島県支部

支部長 福岡 孝司



片柳学園70周年おめでとうございます。私が入学したのは音響芸術科の2期でした。まだ卒業生も居なく本当に職はあるのかと心配でしたがものすごい求人てびっくりしたのを覚えています。

日本工学院の凄さを知った瞬間でした。

そして今、支部長として学校にまた関わること、

そして恩返しができることを誇りに思います。

片柳理事長の元気なお姿を見るのも嬉しい限り。

これからも素晴らしい後輩が育つことを願っています!

山口県支部

支部長 早川 一夫



学校におかれましては、ますますのご盛業のこととお喜び申し上げます。平素はひとかたならぬご懇情を賜り、深謝申し上げます。

片柳学園創立70周年および校友会設立50周年を迎えられましたこと、心よりご祝福申し上げます。また、70年という長き年月の

ご努力を経て今日のご繁栄を勝ちとられましたことは、言葉では表現できないほどの大変素晴らしいことだと思

います。今後なお一層のご躍進をとげられることをご祈念申し上げます。



徳島県支部

支部長 坂東 嘉彦



片柳学園創立70周年、校友会50周年、誠にありがとうございます。

私は昨年から徳島県支部の支部長を仰せつかることになりました、坂東と申します。

卒業してから三十年あまり、こうした喜ばしい年に、校友会を通してまた学校とのつながりが出来たこと嬉しく思います。

日本工学院専門学校のこれまでのご功績に敬意を表するとともに、今後の更なるご繁栄をお祈りいたします。

香川県支部

支部長 渡邊 博文



この度は、片柳学園創立70周年および校友会設立50周年記念をお喜び申し上げます。

70年間常に、時代の要求を先取りした学科・教育環境に多くの学生が学び、多くの人材が全国各分野で活躍されていることを誇りに思います。最新の学習設備を導入され、常に高い教育が出来る環境が人材育成を担っていると感じます。

一冊の技術雑誌の広告が切っ掛けでした、学科内容のすばらしさに将来の夢を見ました。

昭和48年18歳で香川県から上京、電子工学科(32期)に入学しました。京浜寮での生活、クラブ(放送制作研究部)での活動を思い出します。

卒業後は電子関係の仕事へと羽ばたくことが出来ました。入学してから44年の歳月がたちますが、今でも現役で仕事出来る楽しさを感じています。

校友会に参加する事で、多くの情報・交流・学校の情報等が得ることが出来ました。香川県支部での校友会の集いに多くの参加をお待ちしています。

これからも、片柳学園と校友会の益々の発展を願っております。

愛媛県支部

支部長 二宮 清次



このたびは、片柳学園創立70周年および校友会設立50周年をお迎えるの由、まことにめでたく、謹んでお慶びを申し上げます。

開校以来社会状況がはげしく変動するなか、今日のご繁栄を築き上げられましたのも、ひとえに貴校の皆様のご研鑽の賜物と拝察いたします。これを機にますますのご発展を遂げられますことを心よりお祈り申し上げます。

愛媛県支部といたしましても、片柳学園のますますのご発展に寄与できるよう、今後とも格段の努力をいたす所存でございます。

先ずは略儀ながら書中にてお祝いを申し上げます。

高知県支部

支部長 高野 雅勝



日本工学院専門学校創立70周年ならびに校友会設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

戦後間もない昭和22年5月、蒲田の地に「創美学園」として開学。以来、変動する時代の中で常に一歩先を見据え、絶え間ない改革

を続けてこられた片柳鴻理事長の信念と、これを支えてこられた教職員皆さまのご尽力の賜物と深く敬意を表するところで。

母校の繁栄は、我々卒業生にとりましてこの上ない喜びであります。この栄えある創立70周年を契機として、今後さらに発展を遂げられますようご祈念申し上げます。

福岡・佐賀支部

支部長 穴見 誠



片柳学園創立70周年・校友会設立50周年を迎えおめでとうございます。

福岡・佐賀県支部を代表してお祝い申し上げます。

片柳鴻理事長の「76年の蘇る記憶をたどる片柳学園70年の歩み」を読ませていただきました。

創立当時から今日までの学園の歩みは並大抵ではなかったと思います。

私は昭和42年4月から45年3月まで電子工学部に在籍いたしました。

アポロ11号が初めて人間を乗せ月に第1歩を踏み出したこの時代、工学院でアナログからデジタルへ、真空管、トランジスタ、IC、LSI、コンピュータを学びました。

医療機器の輸入会社に入社。西ドイツの真空管式心電図、米国のNASAの技術を活かした半導体を使った分析装置。アナログデータをメータ表示からデジタル表示に変換、コンピュータに接続。またこれを電子カルテにと。

これも、日本工学院で学んだことが基礎になり役に立つ仕事が出来た事を感謝致します。

卒業式で校友会の話を聞きましたが、当時認識は有りませんでした。あれから50年。

携帯電話、メール、SNS等、早く確実に連絡や情報が取れる様になりました。当時固定電話も普及していなく、郵便が主な連絡方法だから、名簿整理等大変で苦労されたことと思います。創設から桂田会長始め、事務局の方々有難うございました。

私も東京、大阪、福岡と転勤して行方不明で縁が切れた状態でした。日本工学院の恩師西村先生が学生就職の件で会社の人事部長とお会いした際、校友会支部創立の話になり、見つけ出され校友会に復帰できました。ご縁と言うか、人脈、絆の大切さを感じました。校友会誌「かまた」・片柳学園・校友会ホームページを通じ情報を共有しましょう。今後の片柳学園・校友会の益々のご発展を祈ります。

片柳学園は永遠に不滅である(片柳鴻70年の歩みより)

長崎県支部

支部長 釘山 威



片柳学園創立70周年および、校友会設立50周年を記念し心よりお祝い申し上げます。私も、早いもので卒業後48年経ちますが、学園での生活は私の人生にとって掛け替えのないものとなりました。

その後の学園の素晴らしい発展を大変誇りに思っております。これも、理事長および、先生方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

これからの学園および、校友会の益々の発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

熊本県支部

支部長 清田 茂信



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年おめでとうございます。

70年前といえば戦後間もない時で、食料も十分に手に入らない時代であったかと思われます。そのような時に専門学校を創立され、今日まで時代のニーズに即した学部新設や、最新の設備を使っの一貫した教育方針によって、毎年多くの新入生を迎え入れる日本一の専門学校となりました。

今日、創立70周年というこの節目に、卒業生の一人として立ち会うことが出来ることに感動と喜びを感じますと共に、理事長始め学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

最後になりますが、学園のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

大分県支部

支部長 佐藤 浩



片柳学園創立70周年および校友会設立50周年記念を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。昨年、大分県支部長を拝命し総会等で上京する機会があり40年ぶりに蒲田を訪れましたが、在学当時はテレビの公開放送録画を行っていた2号館の大ホール

や学校内にボーリング場があった3号館があり、これでも当時は大変驚いた記憶があります。現在の蒲田キャンパスは当時の面影はありませんが、某テレビ番組の病院の背景設定になっている3号館や片柳アリーナ等を拝見し、40年の歴史を感じ誠に感無量であります。未筆ながら、片柳学園および校友会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

宮崎県支部

支部長 川添 守



片柳学園創立70周年また校友会設立50周年、おめでとうございます。私は昭和49年4月日本電子工学院(現:日本工学院専門学校)の情報処理科に入学致しました。全国支部長会に出席する度に思いますのは、当時と比較し、最先端の設備が整えられ、またアリーナ等の施設も新設され、進化する工学院に驚くばかりです。素晴らしい環境の中、今後も優秀な人材を輩出される事をご期待し、さらなるご発展をご祈念申し上げます。

鹿児島県支部

支部長 久山 順一



片柳学園創立70周年、誠にありがとうございます。思えば昭和38年入学時は、2棟という少ない校舎の中、どの教室も満員の状態でした。片柳理事長が目指す「実学」は即戦力を養うという基本理念のもと、学校全体で、徹底した教育が行われました。その結果

20万人を超える卒業生たちが、日本工学院専門学校卒業という誇りを胸に、各分野で社会に貢献しております。私も微力ながらその一員として、志を全うすべく、今もなお日々精進している所です。これからの片柳学園のますますの発展を祈念し、お祝いの言葉と致します。

沖縄県支部

支部長 徳田 永伸



片柳学園創立70周年校友会50周年おめでとうございます。ひと口に70年、50年ですが、これも理事長始め校友会会長のおかげと思ひ、感謝申し上げます。

OBとして、学校に対して何が出来るか…?

1. 自慢の出来る学校
 2. 在校生のフォロー等
 3. 教職員との連携
- ではないかと思ひます。
- 何時も校友会を支えている裏方の事務局には感謝感謝、ご苦労様です。
- 片柳学園創立70周年校友会50周年おめでとう!

各支部長の皆様、ありがとうございました。

講演会 児玉光雄氏 「トップアスリートに学ぶ 勝者の思考法」

平成28年10月29日(土) 31005教室



児玉光雄さん



▲司会・進行
相沢早苗さん

児玉光雄 プロフィール

1947年兵庫県生まれ。スポーツ心理学者
追手門学院大学客員教授、京都大学工学部卒業
住友電気工業㈱に入社 研究開発本部に所属
「ホンマでっかTV」の準レギュラー出演して
いる、日本でも数少ないプロスポーツ選手・
スポーツ指導者のコメント心理分析のエキス
パート。学生時代にテニスプレイヤーとして
活躍、UCLA大学院に学び工学修士号を取
得、20年以上にわたり、臨床スポーツ心理学
者としてプロスポーツ選手のメンタルカウ
ンセラーを務めてきた。

「第51回かまた祭」の期間中、校友会とかまた祭実行委員会が共催した講演会にスポーツ心理学者の児玉光雄さんをお招きし、「トップアスリートに学ぶ勝者の思考法」というテーマでお話しをしていただきました。

フジテレビ系「ホンマでっかTV」の準レギュラーの児玉さんは大リーグのイチロー選手をはじめ、スーパーアスリートの分析や研究をするスポーツ天才学の研究者で、更に日本でも数少ないプロ野球選手、またプロスポーツ選手、スポーツ指導者のコメント心理分析のエキスパートとして活躍なさっています。そうした経験からのお話はとても楽しく、あっという間の1時間30分でした。

その様子を「かまた」をご覧の皆様にお届けしたく誌上にて再現いたしました。

● 相沢さん



皆様ようこそお越し下さいました。本日は第51回かまた祭にお越しただいて、本当にありがとうございます。

本日は、日本工学院専門学校校友会とかまた祭実行委員会共催の特別講演会「トップアスリートに学ぶ勝者の思考法」というテーマで、スポーツ心理学者の児玉光雄さんにおいで頂いております。

私の方から簡単にご紹介させていただきますと、現在フジテレビ系列で放送されております「ホンマでっかTV」をご覧になっている方も多いと思います。その準レギュラーの児玉さんは大リーグのイチロー選手をはじめとしたスーパーアスリートの分析や研究をするスポーツ天才学の研究者なのですが、日本でも数少ないプロ野球選手、またプロスポーツ選手、スポーツ指導者のコメント心理分析のエキスパートとして活躍なさっています。

ご自身も学生時代はテニスプレイヤーとして活躍されまして、全国選手権にも出場されているというすごい肩書の方でございます。

過去20年以上にわたって、臨床スポーツ心理学、プロスポーツ選手のメンタルカウンセラーも務めていらっしゃいます。それでは皆様拍手でお迎えいただきたいと思っております。

児玉光雄さんです。よろしくお願いたします。お待たせ致しました。

★ 児玉さん

みなさんこんにちは。追手門学院大学の児玉でございます。専門が臨床スポーツ心理学という学問をしておりまして、20数年来、チャンピオン、トップアスリートのコメント心理分析、たくさんのもも刊行させていただいております。あるいはまた、プロゴルファーのプライベートのメンタルカウンセラーも務めてます。

こんにちは男女のレギュラーのゴルフのプロトーナメントが開催されております。実はわたくしは神戸に住んでいるんですけども、マイナビABCチャンピオンシップという男子のトーナメント、今日3日目でございます。実はわたくし、男子プロは2名、今指導しております、見事に予選を昨日通過いたしました。ひとはトップ10以内で、今もLIVEで見ながらですね、優勝争いに絡んできていますですね、明日は現地に行くつもりでございます、まああの、非常に忙しい生活を送っております。



わたくしはプロスポーツ選手のコメントを2万以上収集しております。中でもイチロー選手のコメントを二千数百収集しております。多分、最もたくさんイチロー選手に関する本を刊行している学者だと自認しております。

今日はイチロー選手をはじめとするみなさんご存知の日本を代表するトップアスリートの私の大好きなコメントをご披露しながら、わたくしなりの、いわゆるプロフェッショナル論展開させていきたいと思っております。

そして、2番目のセッションとして、配布している資料の図表1から図表5をご覧ください。私の先生はジム・レーヤー博士でございます。アメリカで最も著名なスポーツ心理学者でございます。20数年前、フロリダにある彼のセンターに赴いて、彼から直接、彼の理論を学びました。当時ウィンブルドンチャンピオンテニスナンバーワンのジミー・コナーズ選手を彼はわたくしの目の前でプライベートカウンセリングしてくれるのを見てライフワークにしよう決めました。次のセッションは「メンタルタフネス」。ジムレーヤー理論に関する講義でございます。特に普段学生に抗議している内容をビジネス版に置き換えて今日はお伝えをしてみたいと思います。

そして最後のセッションでございますけれども、図表6から図表12、リーダーシップ論でございます。実はわたくしはビジネス界のリーダーの研究は全くしておりません。ただし、スポーツ界の名リーダーの本も何冊を刊行させていただいております。今日は「人望」をいうキーワードで一貫して「いかにしてなお一層人望を増やすか」、リーダーとして、メンバーの人望を獲得することなくして名リーダーたりえない、様々なプロスポーツの名リーダーのエピソードを交えながら、多分十数分程度だと思うんですけども、最後のセッションお話をさせていただきたいと思っております。

トップアスリートに学ぶ勝者の思考法

1 持続力

- 「僕を天才という人がいますが、僕自身はそうは思いません。毎日血の滲むような練習を繰り返してきたから、いまの僕があると思っています。僕は天才ではありません。」……イチロー
- 「メダルの色は何色でも、重要なのはそこに向かって努力していくこと」……室伏広治

それでは、(配布した資料の)一枚目をご覧くださいと思います。

「持続力」「没頭力」「執着力」「夢実現力」「直観・創造力」、こういった5つの力を兼ね備えてないと、なかなかその道の頂点に昇り詰めるのは難しい。そう私は考えております。でたために並べているわけではございません。

まず、最もベーシックなのが「持続力」、その上に「没頭力」、3番目に「執着力」、4番目に「夢実現力」、そして最終的に「直観・創造力」。まあ、こういった5つのピラミッドを形成することによってこういった5つの力を発揮して、彼らは頂点に昇り詰めた。私はそう確信をしているわけでございます。

まず最初は「持続力」でございます。

ちょっとイチロー選手の言葉をご覧いただきたいと思います。「僕を天才という人がいますが、僕自身はそう思いません。毎日血のにじむような練習を繰り返してきたから、今の僕があると思っています。僕は天才ではありません」あるいはアテネオリンピックハンマー投げの金メダリスト、室伏広治選手は「メダルの色は何色でも、重要なのはそこに向かって努力していくこと」、こう語っております。実は、イチロー選手は別のところで天才の定義をしております。「天才とは、努力することもなく、周囲の人間を突然びっくりさせるようなことをやってのける人間、それを天才というのだ。少なくとも僕はその範疇ではない」ときっぱり語っております。あるいはまた、「小さいころから今まで公式試合でどれくらいの数のヒットを打ってきたか、そんな数には全く興味もないし、覚えていない。ただ言えることは、これまで公式試合で打ったヒットは全部説明できるんだ」と語っております。時には「ピッチャーの投げたワンバウンドのボールもヒットにしたことがある、それも全部説明できるんだ。血のにじむような鍛練の裏付けがあるから、自分は全部ヒットを説明できるんだ」と、彼は語っております。

室伏広治選手。アテネオリンピックの金メダリストでございます。みなさんはひょっとしたら誤解をされているかも知れません。多分みなさんはオリンピックで金メダルをとるために、彼はおびたしい数のハンマーをこれまで投げていた、投げてきたと考えていると思います。でもそれは明らかに間違っております。自らの著書でこう語っております。「4年に1度しか訪れないオリンピックの金メダルをとるために、自分は貴重な4年という人生の時間を捧げるなんてことはできない。じゃあ、なぜ自分が日々血のにじむような鍛練を持続できたか、それはハンマーを投げる行為そのものに快感を見出しているからだ」、彼はこう語っております。

実はアメリカを代表する高名なコロンビア大学教授の哲学者、ジョシュア・ハーバースタム博士は自らの著書でやはりこう語っております。「仕事における最大の報酬は、目の前のその仕事をする行為そのものにある」、彼はこう語っております。



見事に室伏広治選手のコメントと一致いたします。私たちはいわゆる金銭と引き換えに人生という時間を仕事に没頭する。そういう時間を提供いたします。しかしそれでは、なかなか仕事はおもしろくないというのが私の考えでございます。

「目の前の行為そのものに面白みを見出す。発見する」これこそが最強のモチベーターであるというのが私の確信でございます。

実はチャンピオン、あるいはトップアスリートを私は別名で定義しております。「オーバーアチーバー」という言葉でございます。異常なほど達成意欲の強い一握りの集団。これこそ彼らの共通点でございます。昨日の自分よりも今日の自分。今日の自分よりも明日の自分。わずかであるけれども日々、少しずつ成長している、そういう手ごたえを敏感に感じ取る一握りの集団こそチャンピオン、トップアスリートの代名詞でございます。

実はわたくしは明治大学の齋藤孝(さいとうたかし)先生の本、たくさん読んでおります。このまえ読んだ本の中にもいろいろキーワードが出てきました。気に入ってるので講演の度に披露させていただいております。それは、「量質転化」という言葉でございます。もしかしたら国語学者の齋藤先生がお作りになった言葉かも知れません。もちろん私たちは「最初から質の高い仕事をするのは不可能である。人生という時間を仕事に注ぎ込みなさい。とにかく時間という量を仕事に注ぎ込めば、誰でもその道の頂点に昇り詰めることができる」。私たちが元気づけてくれる言葉でございます。多分皆さんは、イチロー選手や室伏選手は類い稀なるその競技種目の才能があったから頂点に昇り詰めたと考えておられると思います。半分は正解でございます。でも半分間違っているというのが私の結論でございます。もちろん彼らにその競技種目の才能がなかったらその競技種目の頂点に昇り詰めるというのは不可能でございます。ただし、才能が恵まれただけでその道の頂点に昇り詰められるほどこの世の中甘くない、これが現実でございます。何よりも血の滲むような鍛練の裏付けがあったから、はじめて彼らの才能の花が開いた、私はそう信じております。とにかく目の前の仕事、あるいは目の前の勉強があることに感謝して、それに圧倒的に時間を注ぎ込む。そうすれば少々才能に恵まれなくても、いわゆるその道の頂点に昇り詰める。私はそれをみなさんに強調させていただきたいと思っております。

トップアスリートに学ぶ勝者の思考法

2 没頭力

●「目標は簡単に叶えられないくらい高く設定する。その時々自分が抱ける最大限の夢や理想を目標にすると書いてもいいかもしれない」……北島康介

さて、2番目の「没頭力」のお話に移らせてください。

ご存じ、競泳界のスーパースター。残念ながらリオ五輪のノミネートにもれて代表にならなくて、引退に追い込まれた北島康介選手でございますけれども、わたくしの大好きな言葉でございます。「目標は簡単には叶えられないくらい高く設定する。その時々自分が抱ける最大限の夢や理想を目標にするといつてもいいかもしれない」まさに「オーバーアチーバー(注:心理学で、知能水準から期待される力よりはるかに高い学業成績を示す者のこと)」を象徴するような言葉でございます。

彼は宣言効果という非常に強力な心理拘束を小さいころから活用してきたから超一流のスイマーになったと私は考えております。小学生のころ、彼はある競技会の前に、コーチに「今日は僕はこの記録で泳いでくる」そう宣言をして水に飛び込んでいきました。そして見事にその記録をクリアして彼は優勝したということでございます。

それ以来彼は必ず水に飛び込む前にコーチ、あるいは仲のいいチームメイトに今日の目標記録を宣言して飛び込んでいく。「有言実行」でございます。壮大な目標を設定して、それを周囲の人たちに宣言する。これこそ強力な成功方程式でございます。

そして、イチロー選手に関する私の大好きなエピソードを皆様にご披露させていただきたいと思っております。これはもうずいぶん前の、彼の高校時代の話でございます。彼はご存じのように愛知県にございます愛工大名電に入学を致します。野球部員は3年間全員が寄宿所暮らしでございました。当時の簡単なスケジュールを皆様にご披露させていただきたいと思っております。夕食が終わってから午後11時の消灯時間までの数時間が、彼らにとっての唯一の自由時間でございます。

イチロー選手以外のチームメイトは何をしていたか。彼らはマンガを読んだりテレビを見たり、チームメイトと談笑に明け暮れておりました。もちろんユニホームを洗う時間をその自由時間に確保したことは言うまでもございません。ただ一人、イチロー選手だけはその唯一の自由時間もグラウンドでランニングに明け暮れたり、素振りに没頭したりしておりました。

実はある日、噂が野球部員の間で広がります。「昨日、トイレで幽霊が出た」という噂でございます。深夜にあるチームメイトがトイレに立って用をたしていたら、外でビュンビュンという音がした。実はその音はイチロー選手がトイレの外で素振りをしていたということでございます。それが午前2時ごろだったといひます。

実は当時の1年生と2年生は午前5時起きを強いられます。なぜ彼らが5時起きをしなければならなかったか、それは3年生の朝ごはんの支度をしなければならなかったからでございます。ただ一人、イチロー選手だけは午前3時起きを決めこみます。なぜ彼が午前3時起きを決め込んだか、それは唯一の自由時間に練習に明け暮れていたために、ユニホームを洗う時間が確保できなかったからでございます。ただ一人午前3時に起きて、一人で洗濯機を回した。

後年、彼はその時のことを思い出してこう語っております。「あの2年間自分の人生にとって最も過酷な2年間だった。たった4時間の睡眠時間だけで2年間を押し通した。しかし最も充実した時間でもあった」と語っております。

なぜ午前3時起きでイチロー選手が午前2時にトイレの外で素振りをしていたか、まったく理由が見当たらないわけでございます。後年彼はこのことについても語っております。「多分あれはあの日のことだったろうと思う。僕は午後11時に眠りについた。しばらくして夢を見た。それは自分がバットを振っている夢だった。思わず目が覚めた。それが多分午前2時前だったと思う。その、夢の先を確認したくて、ただバットを持って外へ出て素振りをしたただけだ」と語っております。

並の選手なら翌朝やればいいと再び眠りにつくはずでございます。でも彼だけは違った。即座にバットを持って試した。

願えば夢はかなうなんてあんちょこな自己啓発本が世間に出回っております。わたくし全く信用しておりません。願って夢がかなうくらいなら、この世の中成功者だらけでございます。でも現実とは全くそうではございません。もちろんわたくしは願うことを否定しているわけではございません。願うことによって行動力がつき、その行動力が私たちが夢に連れて行ってくれる。私の確信でございます。

「没頭力」それは非常に重要でございます。ただ「持続力」だけでも全く才能に磨きをかけることは不可能でございます。いかにして目の前の仕事にのめりこめるか、これもまた、一握りのチャンピオン、トップアスリートの共通点でございます。



トップアスリートに学ぶ勝者の思考法

3 執着力

- 「自分のベースにあるのは、反骨心や向上心なんだと思います。それがなければ、長友佑都という選手はいない」……長友佑都
- 「僕の中のスランプの定義というのは、『感覚をつかんでいないこと』です。結果が出ていないことを、僕はスランプと言わないですから」……イチロー

さて3番目の「執着力」の話に移らせていただきたいと思います。

ご存じイタリアリーグセリエAのインテルのスタープレイヤー長友佑都選手は「自分のベースにあるのは、反骨心や向上心なんだと思います。それがなければ、長友佑都という選手はいない」。

あるいはイチロー選手は「僕の中のスランプの定義というものは感覚をつかんでいないことです。結果が出ていないことを僕はスランプとは言わないですから」。

実は長友選手は九州にごぞいますサッカー名門高校東福岡高校に入学をしております。そして大学は明治大学に進学をしております。しかし残念ながら彼は3年生になるまで全くレギュラーに定着できない、平均的なサッカー選手でございました。その選手がセリエAのスタープレイヤーに昇り詰める。これも奇跡以外の何者でもない。わたくしはそう考えております。反骨心、向上心こそが、彼を超一流のプロサッカー選手にした。これが結論でございます。

実は長友選手は小さいころ、ご両親が離婚をされております。彼は母の手ひとつで育てられました。そして、高校3年生の時に全国サッカー選手権の2回戦で名門の市立船橋と対戦いたします。残念ながら敗退を致しましたが、その日、最愛のお母さまが長友選手の高校生としての最後の雄姿を見るためにそのスタジアムに応援に来ておりました。試合後、長友選手はお母さんに一通の手紙を出しております。そこにはこう書かれておりました。今日は原文のまま皆様にご用意させていただきます。

「幼い時から見続けた働く母さんの背中が、僕にとっての宝物だ。女手一つで3人の子供を大学へ進学させた母さんのチャレンジ精神や前向きさ、豊かなバイタリティで育ったことを本当にうれしく思う。母さん今まで本当にありがとう。僕はこんなに大きな舞台に立てて母さんに感謝しています。」

彼はこう語っております。彼を一流のプロサッカー選手にしたのは紛れもなく最愛のお母さんを幸せにしてやりたい。その思いでございます。自分の為に頑張るだけなら、高が知れております。うまく行けば喜ぶのは自分だけ、うまく行かなければ悲しむのは自分だけでございます。でも周囲の人たちを巻き込めば、そうはいきません。なんとしても最愛の人を幸せにしたい。あるいはチームメイトに感動させたい。そういう強い思いがその人間のモチベーションを上げさせてすごい仕事をさせる。私の考えでございます。

そして、イチロー選手でございます。彼は徹底したプロセス志向でございます。今年、彼は日米通算4256安打、ピート・ローズ選手の世界記録を更新致しました。そしてそのあと、メジャー通算3000安打、殿堂入りを確実にしたということでございます。そのメジャー通算3000安打を記録したその時も、彼のコメントは至って淡々としたものでございました。「3000という節目、これは意識するけれども、これはただの僕にとっての1本のヒットに過ぎない。同じようにまた明日もヒットを積み重ねるだけだ。」そういう言葉を残しております。イチロー選手ほどプロセス志向に徹するメジャーリーガーを見つけるのは全く難しいというのがわたくしの考えでございます。

実はこの言葉を象徴するような出来事が、彼の身の上に起こっております。ちょっと前のオリックス・ブルウェーブ時代のエピソードでございます。ひょっとしたら、野球ファンの皆様ならご存知かもしれない彼の身の上におこった彼の有名な出来事でございます。

その日、彼の所属するオリックス・ブルウェーブはナゴヤドームで西武ライオンズと対戦をしておりました。そしてその最終打席、イチロー選手は当時のライオンズのリーフエースの西崎投手からぼてぼての二塁ゴロに打ち取られます。彼は一塁ベースを踏んで歩いてベンチに戻ってきました。そしてベンチに腰を下ろすやニヤニヤとし始めるのです。他の選手が気持ち悪がった。なぜイチロー選手は凡打を打ったのにニヤニヤし始めたんだ。お



まけに当時の仰木 彬 監督に大目玉をくらっております。「お前はスランプの真ただ中において、ぼてぼての二塁ゴロの凡打を打って何をニヤニヤしているんだ。今日は特打ちだ」試合後さんざん搾り上げられた事実が残っております。シーズンが始まってまだ10日余りの出来事でございます。彼は打率2割3分台の絶不調の真ただ中であつた。そこでぼてぼての二塁ゴロでございます。まったくニヤニヤする理由が見当たらない。

後年、彼はその時のことを思い出しながらこう語っております。これも原文をご用意させていただいております。「99年4月11日、日曜日。ナゴヤドームの西武戦です。3連戦の最終ゲームその9回。トップバッターだった僕はリーフ登板した西崎さんにぼてぼての二塁ゴロに打ち取られたんです。特に左バッターから見て二塁手から右側のセカンドゴロは最悪なんです。2塁手よりセンター寄りのセカンドゴロはまだましなんですけど。それで僕は最悪のセカンドゴロだったんですが、次の瞬間嘘のように目の前が暗れていったんですよ。ああこれなんだと思いました。これまで探し求めていた、タイミングと身体の動きを一瞬で見つけることができた。それもあやふやなイメージではなく、頭と身体で完全に理解することができたんです」彼は、こう語っております。「一塁ベースを踏んで歩いて戻ってくる途中、身体に何か走った。そうだこのタイミングなんだ。思わずうれしくなってニヤニヤし始めた」という事でございます。

事実、そのゲームを境に猛烈に打ち始めます。それ以降打率4割のペースで打ちまくって4月末にはきっちり2割3分台から3割台に打率を引き上げていた。

このエピソードから私たちが学ぶことは何か。「逆境に見舞われても平常心を維持して、事実をありのままに受け止めて、その打開策を考える」これこそ、イチロー選手を超一流のメジャーリーガーに仕立てた大きな要素でございます。

私たちはちょっとしたことでもうたえます。ちょっとした逆境でもパニックになる人達も珍しくございません。「スランプこそ絶好調」、そんなわけのわからない言葉を彼は発しております。「僕にとっての唯一の絶好調はスランプの時にしかないんだ。なぜなら、過去の飛躍のヒントはすべてスランプの真ただ中で発見したからだ」彼の言葉でございます。

スランプに見舞われた時、モチベーション上げてチャンスが来た。そういう思い、これは彼らの共通点でございます。

実は中国ではみなさんご存知の「機」という言葉は二つの意味がございます。もちろんひとつめの意味は「機会」の「機」でございます。ただしこの「機」にはもうひとつの意味が含まれてございます。それは「危機」の「機」でございます。チャンスはピンチ、ピンチはチャンス。この「機」という一字の中に二つの意味が込められています。

並のアスリートはチャンスに到達したら浮かれます。逆にそういうアスリートはピンチになったときに途端にがっかりしてしまう。浮き沈みが早いということです。一流のアスリートはピンチであろうがチャンスであろうが淡々と目の前の作業にベストを尽くす、これは非常に重要な要素でございます。命まで取られるわけではない。開き直って修羅場を楽しむこと。これは非常に重要でございます。

北島康介選手はこうも語っております。「圧勝するなんてつまらないじゃないですか」接戦の醍醐味、修羅場をくぐることの醍醐味、これを生きがいにする。これもまた、一握りの成功した人間の共通点でございます。

トップアスリートに学ぶ勝者の思考法

4 夢実現力

- 「まだ(この勝利では)喜べない。もう勝てない相手もないと思うので、できるだけ上を向いてやりたい」……錦織圭
- 「これだけ変えられない」「これだけずっともってないといけない」というものを大事にしてほしいです。ブレてはいけません。絶対に軸がないとダメです」……田中将大

さて4番目の「夢実現力」のお話に移らせていただきます。

私は、学生時代テニスプレイヤーとして全日本まで行かせていただきました。そして10年間のサラリーマン生活の後、脱サラをしてプロ・テニスコーチとして指導もしてまいりました。

実はこの言葉、「まだこの勝利では喜べない。もう勝てない相手もないと思うので、できるだけ上を向いてやりたい」



これは一昨年の全米オープンで見事にファイナリストに輝いた時の4回戦を勝利した後、ラオニッチ選手に5セット、4時間以上の試合で勝利した後に語ったコメントでございます。一昨年の日本流行語大賞にも輝きました。「もう勝てない相手もない」その時、彼の自己イメージが変わったと私は確信をしております。

実はご存じ、彼のコーチはあのマイケル・チャンでございます。東洋系の選手として初めてグランドスラム全仏オープン男子シングルのチャンピオンに輝いた名プレイヤーでございます。厳しい練習メニューを課す厳しいコーチとしても知られております。

実は錦織圭選手はもっともあこがれる選手はロジャー・フェデラー選手でございます。小さいころからフェデラー選手にあ

こがれて、大きくなったらフェデラー選手のようなプロテニスプレイヤーになりたい、それを思いながら厳しい練習に耐えて、見事に夢をかなえたということでございます。

実は憧れるフェデラー選手と初めて公式戦試合で対戦する機会が訪れます。それは2011年スイス室内選手権(*スイス・インドアーズ・バーゼル2011)の決勝でございました。錦織選手は勝ち上がって、第一シードのフェデラー選手と決勝戦で対戦をいたします。その前日に彼は記者会見でこう語りました。「明日憧れのあのフェデラー選手と対戦するなんて、今からワクワクします。なぜなら彼は私にとってもっともあこがれる選手ですから」

実はマイケル・チャンコーチはこの錦織選手のコメントをしっかり聞いて記憶しておりました。そして、コーチに就任するや否や、錦織選手を呼びつけてこういったそうでございます。「あの時あなたはこういいましたね。でも明らかにあのコメントは間違っていました。コートに立ったら過去のキャリアなんて全く関係ないんだ。お前は邪魔ものなんだ。そのくらいの思い出相手に打ちのめすくらいの意気込みがないと、決して一流のプロテニスプレイヤーにはなれない」そう釘を刺したそうでございます。

間違いなく、マイケル・チャンコーチが錦織選手の自己イメージを変えたと、私は思っております。自己イメージとは本人が自分をどのような人間だととらえているか。そういうものでございます。残念ながらほとんどの人は過去の自分のキャリアを通して自分はこの程度の人間だと考えております。言い換えれば一握りの1パーセントのトップアスリートのみが自分のポテンシャルを正当評価している。残念ながら残りの99パーセントの人間は自分を過小評価している、と私は考えております。

努力は蛇口から流れる水のようにございます。自己イメージはその水を受け止める容器の大きさでございます。そしてその容器に蓄えられる水の量がパフォーマンスでございます。いくら努力をしても肝心の容器の大きさが小さければ、努力という水はあふれてしまいます。努力する前に自己イメージという容器の大きさを大きくする。これは非常に大事でございます。もしも、この中にリーダーの方がおられたら、組織の若い人たちに「君はこんなもんじゃない、もっと大きな成果を上げることができる」と頻りに励ましていただきたいと思っております。これこそがリーダーの最も重要な役割だと私は確信をしております。

いかにして自己イメージを変えるか。一握りのチャンピオンこそ大風呂敷、本田圭佑選手、ダルビッシュ有投手、これからお話する田中将大投手、みんな自己イメージの容器が大きいから成功したんだ、もちろん蛇口から流れる努力を流し続けたことは言うまでもございません。

そして田中将大投手でございます。「これだけ変えられない」「これだけずっともっていないといけない」というものを大事にしてほしいです。プレてはいけません。絶対に軸がないとダメです」

実は今年の正月のホンマでっかTVの特番で私は初めて田中将大投手と対面を致しました。そして人生相談のコーナーで彼の相談相手になったということでございます。本も1冊刊行させていただいております。

ご存じのように彼は2006年のドラフトでドラフト1位に競合指名されて、楽天ゴールデンイーグルスに入団を致しました。実は当時の監督はあの野村克也さんでございました。野村監督はルーキーイヤーの田中投手は変化球でバッターを打ち取るシーンを見てちょっと不満げでございました。そしてついに見かねて、田中投手を監督室によんでこう言ったそうです。「あのなお前、ルーキーなんやからもっとストレートでがんがん勝負して行かん。そんな変化球でバッターを打ち取っているようじゃ決して一流のピッチャーになれんぞ」といったそうでございます。

ルーキーイヤーのピッチャーでございます。あの監督からそうアドバイスをされると、多分ほとんどのルーキーのピッチャーはこういいます。「わかりました。監督の仰せの通り、次の登板からストレートで真っ向勝負します。」そういうはずでございます。でも田中投手だけは違った。少々不満そうな表情を浮かべて、野村監督の眼をしっかり見据えて、こういったそうでございます。「監督のアドバイスはしっかり受け止めておきます。でも残念ながら僕は監督のアドバイスを聞くことができ

せん。なぜなら監督のアドバイス通りにしたがつてストレートで真っ向勝負して打たれて負け投手になって2軍に落ちるのは僕なんですから、自分のやり方でやらせてください。それで負け投手になったらいつでも2軍に落ちますから」そういったそうでございます。

もちろん野村監督も折れておりません。しばらく押し問答が続きました。そして、結局折れたのは野村監督の方でございました。それ以降の田中投手の活躍はご存じのとおりでございます。

持論系モチベーター。これは最強の内発的モチベーターでございます。ダルビッシュ有投手、本田圭佑選手、田中将大投手、リーダーにとっては使いづらい尖ったメンバーでございます。なぜ彼らが反論してくるのか、是非聞く耳を持っていただきたいと思っております。彼らは自らの仕事にプライドを持って、自分のやり方で自分の仕事の成果を上げたい、そういう強力な意志を持っているからでございます。是非彼らの思い通りにやらせていただきたいと思っております。そして成果が上がらないならこっぴどく叱っていただいて結構でございます。でも彼らは見事に高い確率で仕事で成果を上げてくれるはずでございます。

田中投手のグラブには「気持ち」という言葉が刺繍されております。ピンチになったとき、彼はその「気持ち」という言葉を睨みつけて、フルスロットルでバッターを三振に打ち取るということでございます。「気持ち」こそ、田中投手にとって最も重要なメンタルスキル。それはわたくしの確信でございます。

トップアスリートに学ぶ勝者の思考法

5 直観・創造力

- 「みんな着地を止めているのだと思うのですが、僕は止まるところで技を終わらせれば勝手に止まるという印象なんです。技をちゃんとやれば自然と着地がうまくいくという考えですね」……内村航平
- 「僕ラーメンを作るのが好きなんですけどラーメンをゆでる時に、3分間をストップウォッチで測らないとダメようでは一流ではないですよ。箸の先で麺のカタさを感じることができないといけないわけで」……イチロー

さて最後の「直観・創造力」のお話に移らせてもらいます。

内村航平選手、そしてイチロー選手の言葉、これからもいかにして彼らが直観力、想像力に富んだアスリートかということがわかんと思います。

実はみなさんはちょっとした誤解をされているかもしれません。それは脳という臓器は解剖学的に見て文字や数字を処理するのに向いている臓器だということ、まったく間違っております。脳は文字や数字を処理するために作られておりません。直近に身に着けた高々数千年の歴史しかない最も脳が苦手とする作業でございます。もしも皆さまが長時間パソコンとにらめっこしてストレスと感じているならばそれは皆さんがストレスを感じているというより、脳が悲鳴を上げている証拠でございます。是非その時間をコンパクトにまとめて頂いて、非言語の出力作業、直観力、想像力を沸き上がらせる、脳が最も得意とする作業にたっぷり時間をかけて頂きたいと思っております。

どんなスーパーコンピューターも太刀打ちできない、直観力、想像力こそ脳が保持している、最も得意とする作業でございます。月曜日から金曜日あらゆる組織で、ブレインストーミング、アイデア会議と称して長時間ミーティングが開催されております。残念ながらそういった会議で、組織を根本的に変える斬新なアイデア、直感が出てこないというのが私の考えでございます。

なぜなら、過去の大発明、大発見を分析すると、二つのルールが盛り込まれていることがわかるからでございます。まず、一つ目のルールでございます。偉大な発明・発見ほど一人きりの時にしか生まれてこない。あのアインシュタイン、ニュートンはグループディスカッションで、あの偉大な理論に巡り合ったのでしょうか。全くNOでございます。彼らは研究室に一人きりになってそして思索に思索を積み重ねたからあの偉大な理論に巡り合った。そして二つ目のルールでございます。残念ながらそれは、仕事時間にはあまり生まれてこない、オフタイム、リラクセスする時にこそ素晴らしい直感やアイデアが浮かび上がるというルールでございます。

アインシュタインは思索につかわれて思わずレマン湖に舟を出します。そして釣り糸を出した瞬間、頭の中にひとつの閃きが浮かび上がった。それはもしも光の上に自分が乗ったらどうい景色が見えるか、という閃きだったといひます。これが相対性理論の偉大なヒントにつながった。ひとりきり、かつリラクセスしているときにこそ、仕事上のアイデアがどんどん浮かび上がってくる。私の考えでございます。



実はわたくしのこの考えをバックアップして頂くある経営者の本に巡り合いました。それは日本マクドナルド元CEOの原田泳幸さんが記された本の中に出てくる言葉でございます。これもちょっと原文を読ませていただきます。「私は時々、風呂場から妻にちょっと紙と鉛筆を持ってきてと叫ぶことがあります。風呂場はほんとうにすごいところです。いろいろと思いつく。思いついたらびしょびしょのまま風呂場を出てパソコンにアイデアを打ち込んでいく。落ち着いたところにまた風呂に戻ることもあります。不思議なもので、閃きは一度にたくさん出てくる時があります。連想ゲームのように次から次へとアイデアが浮かぶのです。実際私が一番閃く場所は風呂場であることは間違いありません」彼はこう語っております。

みなさんがお仕事を終えられて浴槽にどっぷりとつかっている、皆さんにとって最も幸福感を感じる時間帯こそ仕事上のアイデア、直観が浮かび上がるチャンスでございます。是非忘れないうちにそれを形に残していただきたいと思えます。

閃き直観はいつどんなところで出てくるかは全く予測が付きません。突然、断片的な物が出てくる場合がございます。ぜひ肌身離さずメモ用紙と筆記用具を常備して頂きたいと思えます。

この成熟した情報社会でもメモ用紙と筆記用具こそ閃き、直観を形に残す、最強のツールでございます。多分、過去にみなさんの頭の中から浮かび上がった偉大な仕事上のアイデア、直観の9割以上はすでに闇に葬られている、わたくしはそう思っております。

週末、フィットネスクラブで運動を楽しんでいる方がいらっやると思えます。そんな時にも偉大なアイデア、直観が生まれてくるチャンスでございます。是非トレーナーの中にメモ帳と筆記用具を忍ばせて運動を楽しんでいただければと思えます。ウォーキングマシンの上でジョギングをしているときに、何かアイデアが浮かんだら勇気を出して即座にマシンから降りてポケットの中からメモ用紙を取り出して、今、何が浮かんだか、殴り書きで結構でございます。書き留めて頂きたいと思えます。そして翌日月曜日の朝、オフィスに持って行って点検をしてください。多分10個のうち9個はガラタだとします。でもたった一つ、素晴らしいアイデアが潜んでおります。私の確信でございます。

そして、もうひとつ「直観・想像力」に関する私の大好きなエピソードをご披露したいと思います。実はわたくしは青木功プロのゴルフ解説が大好きです。もちろん彼のプレーも大好きでしたが、解説も大好きでございます。なぜなら、彼はわたくしの知らないことを教えてくれるからです。他のゴルフ解説者が私の知っていることをただ述べ、連ねているだけに比べ、彼は私の知らないことを教えてくれる。

日曜日の午後、トーナメント最終日でございます。勝負は最終18番ホールに持ち込まれます。二人のプレイヤーが同じスコアでしのぎを削っております。どちらかが一打差でタイトルを獲得するかプレーオフに持ち込まれるか、固唾を飲んで見守るシーンでございます。ひとりのツアープロが最終18番グリーンでアドレスをとりまします。突然、青木プロが叫びます。このボールカップの右側を外れるよ。見事に高い確率で、そのボールはカップの右側を外れます。私には何も見えません。でも彼には何かが見えている。そのゴルファーのアドレスが、ちょっとカップの右側を向いているかあるいはパターフェイスがちょっとカップの右側を向いているか、私には何も見えません。でも彼には何かが見えている。それこそ脳が最も得意とする照合作業でございます。脳は照合作業に長けた臓器でございます。是非、異分野の釣り広告、看板そういった異分野の情報を脳に入力するだけで脳に化学反応が起こってみなさんの仕事上の斬新なアイデア、あるいは直観をどんどん出力してくれるはずでございます。是非、通勤途上は居眠りをしないで、流れる景色をどんどん脳に入力して頂きたいと思えます。

以上プロフェッショナル論、5つの力に基づいてお話をさせていただきました。



さて次のページご覧いただきたいと思えます。

メンタル・タフネスの理論でございます。実はこの5枚のチェック用紙(*図表1~5)、ジム・レーヤー博士がある金メダリストにプレゼントしたものでございます。それはダン・ジャンセンというスピードスケートの金メダリストでございます。

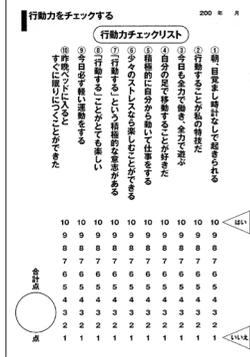
実はジャンセン選手は4回オリンピックに出ております。でも残念ながら最初の3回、ことごとくメダルから見放された不運のチャンピオンでございます。なぜなら、彼は4回のオリンピック直前、常に彼は世界ランク1位だったからです。最初の3回、銅メダルすら取れなかった。そして失意のうちに最後の4回目、94年リレハンメル冬季オリンピックに引退をかけて挑みます。その2年前からジム・レーヤー博士の門をたたいて、なんととしても最後のオリンピックで金メダルをとらせてほしいと懇願しました。そこでジム・レーヤー博士はこの5枚のチェック用紙をプレゼントしたというわけでございます。リレハンメル冬季オリンピ

図表1

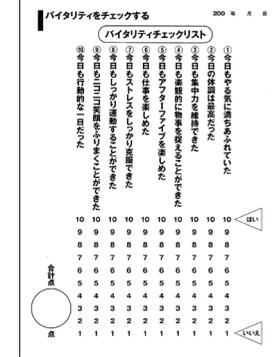
やる気を高めるメッセージ

- ・今日もすばらしい一日にしよう
- ・私の人生はどんどん良くなっていく
- ・仕事は順調で楽しい
- ・毎日が楽しくて仕方がない
- ・私には幸運の神がついている
- ・困難な仕事ほどやりがいがある
- ・いい仲間、友達に恵まれて私は幸せ者だ
- ・私は具体的な夢に向かって邁進している
- ・すべてのことに感謝！感謝！
- ・私に不可能なことはない
- ・仕事ができることに感謝しなければ
- ・どんなときでも私は笑顔を保つ
- ・どんなときでも私はベストを尽くす
- ・うまくいかないときこそ飛躍のチャンスだ
- ・節制して健康を維持することに努めよう
- ・家族がいるから私は頑張れる
- ・私はなんて幸せ者なんだろう
- ・今日も最高の一日だった。明日が楽しみだ

図表3



図表4



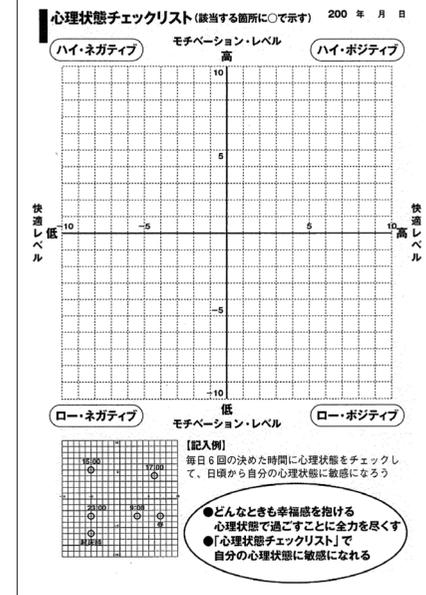
図表5

オフを実践させる表

トレーニング項目	月	火	水	木	金	土	日
駅カトレーニング(9)							
食事制限(1-5)							
食事内容(1-5)							
起床時間(時間)							
就寝時間(時間)							
睡眠時間(時間)							
読書の量(1-5)							
ポジティブな態度(1-5)							
自信があった(1-5)							
集中力レベル(1-5)							
やる気レベル(1-5)							
楽しかった(1-5)							
リラックスできた(1-5)							
寛解していた(1-5)							

【注】(1-5) 1: 非常に低いレベル、5: 非常に高いレベル (得意に感じている程度)
 * 起床時間(1-5) 1: 起床時間、5: 起床時間
 * 起床時間(1-5) 1: 起床時間、5: 起床時間
 * 起床時間(1-5) 1: 起床時間、5: 起床時間

図表2



クの1000mファイナルで見事に優勝した後、記者会見で彼は金メダルをテレビカメラに突き出してこう言いました。この金メダルの半分をジム・レーヤー博士にプレゼントしたい。そうまで言わせたスポーツ心理学者でございます。

図表1をご覧くださいと思えます。

やる気を高めるメッセージです。1日最低3回1行ずつ必ず目を通していただく作業でございます。是非拡大コピーをして手帳の裏表紙に張り付けたり、デスクの一番上の引き出しに忍ばせたりして1日最低3回読んでいただきたいと思えます。「今日も素晴らしい1日にしよう」「私の人生はどんどん良くなっていく」「仕事は順調で楽しい」「毎日が楽しくて仕方がない」「私には幸運の神がついている」、以下一行ずつ目を通していただく作業でございます。4,5日この習慣を続けることによって自然にモチベーションがあがる自分に気付かされるはずでございます。

さて図表2をご覧ください。

ジム・レーヤー博士は4つの心理領域に分類しております。これを1日1枚使用いたします。まず右上の領域でございます。彼は「ハイ・ポジティブ領域」とよんでおります。別名チャンピオンの心理領域でございます。「チャンピオンは常にこの心理領域で戦えるから勝利できる」と論文に書いてスポーツ界で大いに注目されました。横軸は心理状態の快、不快でございます。右に行けば行くほど快適な心理状態、左に行けば行くほど不快な心理状態でございます。そして縦軸はモチベーションレベルでございます。もちろん上に行けば行くほどやる気の高まっている状態、下に行けば行くほどやる気のない状態でございます。

じゃあチャンピオンとたたかっている他のアスリートはどこで戦っているか。左上でございます。「ハイ・ネガティブ」彼はストレス領域と言っております。モチベーションレベルはチャンピオンと引けを取らないけれども、不快な心理状態でチャンピオンと戦っているどちらが勝利するかももちろん最高の心理領域で戦っているチャンピオンの方でございます。

ジョコビッチ選手は常にグランドスラムのセンターコートがホームコートでございます。一方、他のテニスプレイヤーは生涯に一度でいいからウィンブルドンのセンターコートでジョコビッチ選手と戦いたいと思っております。でも残念ながらほとんどのテ

ニスプレイヤーは一度もウィンブルドンのセンターコートでプレーすることなく引退に追い込まれる。全く心理状態が違うということでございます

実はジム・レーヤー博士はスポーツ界のみならずビジネス界のトップ・エグゼクティブのプライベート・メンタル・カウンセラーも務めております。論文で彼はこう書きました。

残念ながらアメリカの企業の8割以上はストレス領域で仕事と格闘している。物理的時間で処理できない多量の仕事を抱えているリーダーの方々、あるいは、自分の能力では解決できない難問を抱えている経営者の方々。すべて、このストレス領域で仕事と格闘しております。そして、それが長期間に及ぶと最悪の心理領域、左下でございます。「ロー・ネガティブ」、バーンアウト領域とジム・レーヤー博士は呼んでおります。月曜日の朝会社に行きたくない。あるいは、医者から軽うつ状態だと診断された、本人の気づかないうちに深刻な心理領域に突入している状態でございます。極端な場合自殺に走るリーダー、メンバーの方々がおられる。残念ながら本人の気が付かないうちに「ロー・ネガティブ」の状態の仕事と格闘した末の悲劇でございます。



そして最後の4つ目の心理領域、右下でございます。彼は「ロー・ポジティブ」、リラックス領域と名付けております。仕事以外の趣味、グルメ、運動、あるいはコンサート、野球観戦といったイベント興じている、皆さんにとって最も幸福感を感じるオフタイムの時間帯でございます。彼は論文でこう書きました。「月曜日から金曜日、あなたがどんなに忙しくても最低2時間、リラックス領域を訪れなさい」彼は論文にこう書いてビジネス界でも大いに注目されました。

このチャートに、今自分がどの領域にいるか2～3時間おきにプロットしてください。最初はどこにプロットしているかわからないとおっしゃる人もいます。「えいやー」で結構でございます。これもまた、4～5日つけ続けることによってこの心理領域に敏感になって、自分が今どの心理領域にいるか、手に取るようにわかるということでございます。

そして必ずプロットした上に時刻を記してください。そして起床後から就寝まで、ただ時系列的に点線で結んでいただくだけの作業でございます。就寝前にその日、どのような心理領域で推移したか、チェック用紙によって手に取るようにわかるということでございます。

彼は皆さんを車に例えております。「皆さん」という名前がフロントナンバーに記された車が朝出社するとき、タンクを満タンにして出社してください。そして昼間、それを完全に消費してガス欠状態になってへとへとでその日の夜ようやくベッドにたどり着いて数分以内に深い眠りに入る、この連続なんだと彼は強調致します。

「人生をマラソンのようなものに例える人もいますけれども明らかにそれは間違ってる。人生はマラソンのようなものではない。100mダッシュの連続なんだ。昨日のことは忘れてしまいなさい。終わってしまったこと。明日は明日考えればいい。人生は今日24時間しかないんだ。そういう切実感を持って1日を完全燃焼させなさい」彼の強調点でございます。

左側のタイヤがオンタイム、右側のタイヤがオフタイムでございます。左右どちらの方のタイヤが大事か。そんなバカげた質問される方は一人もおられないと思います。4本すべて同じだけ重要でございます。「皆さんという車」の4本のタイヤ、常に最適の空気圧、最高のコンディションに維持して頂いて初めて「皆さんという車」は人生という高速道路をスイスイと走っていけるというわけでございます。

残念ながら「皆さんという車」のガソリンメーターは存在致しません。その証拠にガス欠状態になりながら必死で高速道路でアクセルを踏み続けるリーダーの方々、メンバーの方々がおられることをそれを象徴しているということでございます。

他のスポーツ心理学者がもっぱらチャンピオン、トップアスリートのオンタイム、仕事時間の研究に明け暮れて時にただ一人、ジム・レーヤー博士だけは彼らのオフタイム、余暇の研究に明け暮れた。そして一躍スポーツ界のみならず、ビジネス界で注目されたというわけでございます。

このセッション最後に、わたくしの大好きなエピソードをご披露して最後のセッションに移らせていただきたいと思います。それマーク・マコーマックさんという方に関するエピソードでございます。彼はIMG (International Management Group) という世界最大のスポーツ・エージェントの創業者でございます。タイガー・ウッズ、マリア・シャラポバ、あるいは錦織圭選手も所属する世界最大のスポーツ・エージェントの創業者でございます。既に10年以上前に他界されております。(*2003年死去)

生前、彼は最も多忙なトップエグゼクティブでございました。自家用ジェットで全世界を飛び回り、1年先まで秘書の決めた分刻みのアポイントをこなさなければならなかった。そして残念ながら彼は「バーンアウト領域」に陥ってジム・レーヤー博士の門をたたきます。開口一番、ジム・レーヤー博士はマコーマックさんにこう言います。「あなたの手帳を見せてください」彼

は分厚い手帳をレーヤー博士に差し出します。そこにはおびただしい数のアポイントが真っ黒になるまで埋め尽くされておりました。

レーヤー博士はまさらな手帳を彼にプレゼントしながらこう言いました。「あなたがオフで一番やりたいことは何ですか？」

即座にマコーマックさんは「テニス」と答えました。「でも残念ながら忙しすぎてこの1か月ラケットを持ったことがないんだ」と不満を述べ立てます。即座にレーヤー博士はマコーマックさんにこう言いました。「じゃあ、これから私の前で約束をしてください。確かにあなたの話を聞いては忙しいようだけれども、週に何時間ならテニスに時間を割けますか？」マコーマックさんは腕組みをしながら沈思黙考して、しばらく考え抜いたあと、「忙しいけれど週に5時間ならなんとかテニスの時間を確保できる」といいました。即座にレーヤー博士はこう畳みかけました。「じゃあ、これから私がプレゼントしたこのまさらな手帳にこれから私の前で1年先まで週5時間の割合で自らの手で具体的なテニスの時間を記入してください」

彼は1時間近くかけてレーヤー博士の前で1年先までそのまさらな手帳にテニスの時間を書き込みました。

大統領の晩餐会まで丁重に断ったという事実が残っております。なぜ断ったか。もちろんあらかじめそこにテニスの時間が記入されていたからでございます。その日彼はレーヤー博士から、オンタイムとオフタイムは同じだけ重要であるという事実を学んだということでございます。

どんなに忙しくてもオフタイムのイベントを真っ先に手帳に記入する、これは非常に重要でございます。今日私が強調したこと、オンタイムは左側のタイヤ、オフタイムは右側のタイヤでございます。日本のリーダーの方々、メンバーの方々もオフタイムの空気圧が少し抜けているというのが私の実感でございます。今日、オフタイムのコンサートのイベントが控えているとき、昼間の仕事も捗るというものでございます。

みなさんの人生は仕事で占領されているわけではございません。浅田真央選手ではございませんけれどもフィフティ・フィフティ、ハーフアンドハーフでございます。オフタイム、オンタイム、バランスよくとることによって肝心の仕事もうまく運ぶというのが私の考えでございます。

最近「ブラック企業」という言葉が独り歩きをしております。あるいは大手の企業の労災認定の数も増えていると聞きます。まだまだ日本の経営者、リーダーの方々にはオフタイムの重要性の認識が不足している私は警告をさせていただきたいと思えます。

皆さんがこの世を去られるときに、臨終の床で「もうちょっと仕事をしてあげばよかった」と思われる方は一人もいらっしゃらないはずでございます。「もっとオフタイムを充実してあげばよかった」これこそほとんどの人々が臨終の床で頭の中に思い浮かべるものでございます。

まだまだ日本の経営者の方々、リーダーの方々、メンバーの方々もオフタイムが充実していない。よく遊び、よく働く、これこそ、人生をうまく回していく大きな要素でございます。



さて最後のリーダーシップ論、一貫して「人望」をキーワードにお話を進めさせていただきたいと思います。

図表6～図表12が資料でございます。時間の関係で全部を説明することはできませんが私の大好きなチェック用紙でございます。もちろんこれは他の本から引用させていただいた、私の大好きなチェック用紙でございます。既に数千人以上の経営者の方がリーダーの方々を活用して頂いてると聞いております。後ほど簡単に説明いたします。

実はだいぶ前になりますが、スポーツ界における名プレイヤー、名リーダーの本に巡り合いました。それはスティーブ・ヤングさんという方の書かれた本でございます。彼はNFL (National Football League)、アメリカンフットボールの名クォーターバックだった人でございます。彼の本には人望の定義が記されておりました。彼はその本の中でこう記しております。

「人望とはリーダーがメンバーをぐいぐい引っ張っていく能力ではない。黙っていてもメンバーが付いてきてくれる能力、それが人望なんだ。しかもそれはリーダーが決めることではなく、メンバーが決めることである」そう記しております。

実はNFLアメリカンフットボールのクォーターバックは自軍の選手の人望を獲得することなく務まらないポジションでござい



図表6

きちんとリスト

身だしなみに気を使っていますか？

身の回りは整理整頓されていますか？

人との約束は守っていますか？

決めた時間を守ろうとしていますか？

適度な運動をしていますか？

バランスのよい食事を心がけていますか？

程よい休息をとっていますか？

家族や友人を大切にしていますか？

仕事以外の趣味を楽しんでいますか？

人生でやりたいことに向かってチャレンジしていますか？

出典：「自律しなくても部下が伸びる！」(日経 HRJ)

図表7

これはやってはいけない！

リーダーの10行動チェックリスト

自分からあいさつしない

部下と、仕事以外の話をしない

部下の話を途中で遮り、最後まで聴かない

部下をけなす、非難する

部下を人前で叱咤する

部下の弱みばかりを指摘する

自分のやり方を部下に押し付ける

チームの方向性を示さない

部下に仕事を任せず自分で抱え込む

会議で一方向的に話し続ける

部下と一緒に会社についての愚痴を言う

部下の失敗を見て見ぬふりをする

部下の手柄を横取りする

自分の間違いを認めない

いつも、しめつけ面をしている

出典：「自律しなくても部下が伸びる！」(日経 HRJ)

図表9

部下への接近度チェックリスト

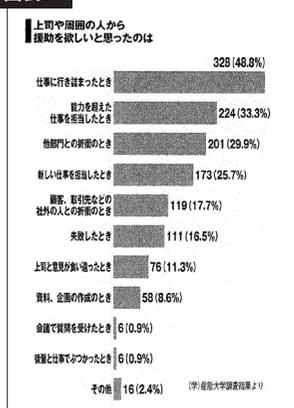
該当欄を✓印でチェックしてください
5点……申し分ない 4点……まあまあ 3点……普通 2点……やや不足 1点……全くできていない

	5	4	3	2	1
①いつも笑顔でいられる					
②こちらから先に部下に挨拶をしている					
③時折、部下と談笑している					
④部下が冗談を言ってくることがある					
⑤たまたま、部下と飲みに行く					
⑥部下の関心事に明るくならうと努めている					
⑦部下の顔にはいつも耳を傾ける					
⑧部下と共に楽しむ趣味がある					
⑨あなたの個人的なことを時折部下に話す					
⑩部下には自分にはない長点があると思う					

【注】3カ月に一度くらいは自己チェックしながら、多くの項目が5点に近くなるよう努力してください。

【出典】「部下が伸びる」(日経 HRJ)

図表10



ます。歴史上ほとんどメインのクォーターバックは白人の選手で占められております。一方ランニングバックの選手はほとんど黒人選手でございます。自軍の黒人のランニングバックの選手の人望を獲得することなくして名クォーターバック足りえない。そのことを物語っております。

実はスティーブ・ヤングさんはこれまでのクォーターバックが頑なに守っていたルールを初めて打ち破った人でございました。それまでの白人のクォーターバックはフィールド上では自軍のランニングバックの選手とフットボールのコミュニケーションをするけれどもパーソナルなコミュニケーションを一切取らなかった、そして一旦フィールドから離れると彼らと全くコミュニケーションを取らなかった歴史がございました。それをヤングさんが初めて打ち破りました。

オフの日、自宅に自軍のランニングバックの選手、奥様お子様共々招いて頻りにホームパーティーを開催しました。そして、もちろんフットボールのコミュニケーションではなく、パーソナルなコミュニケーションをとった。そして一挙に彼らの人望を獲得したとのことです。

引退記者会見で彼はこう語りました。「フットボールファンが自分を名クォーターバックと言ってくれるのは嬉しい。でもそれはすべて、ランニングバックの選手のおかげなんだ。なぜなら自分の投げたおびたしたい数のミスショットを彼らは必死になってジャンプしてキャッチしてくれたからだ」と

語っております。これこそ、人望とは何かをわかりやすく私たちに教えてくれるエピソードでございます。

実はサッカー日本代表元監督の岡田武史さんもその成功方程式を見事に貫いたから名リーダーの仲間入りをしたと、私は考えております。彼の手帳には選手の生年月日、奥様お子様の名前と誕生日が事細かに記されております。そしてそれを見事にパーソナル・コミュニケーションのツールとして活用しております。

例えば、「昨日、息子の太郎君の10歳の誕生日だったそうだね。最近スタジアムで見ないけど、一度顔を見たいものだ」と突然選手に語り掛ける。「なぜ一度しか会わせていない息子の名前と誕生日を監督は覚えていてくれるのか」と選手は狂喜します。そしてこの監督を胴上げしたいとまで思わせる。

なぜ岡田元監督がこの習慣を身に着けたか、それは若かりしリーダーのころ、大失敗をしでかしております。それは惨敗したゲームの後の反省会を開催したという大失敗でございました。ある惨敗したゲームの後で全選手を招集して、ひとりひとりにそのゲームの敗因を語らせた。長ったらしい深夜にまでも及ぶミーティングになったことは言うまでもございません。その結果どうなったか。彼らの気持ちがますます暗くなって次の試合ももっと惨めな負け方を致しました。

その2回目の惨敗したゲームの後でございます。「よし、これからはリーダーであり続ける限り、圧勝した試合の後でも、試合後のミーティングを一切しない」と心に誓ったそうでございます。そして頑なに、今もそれを守り通しております。

そして、ある惨敗したゲームの後で、彼の頭に一つのアイデアが浮かび上がります。「そうだ、今日焼肉パーティーを開催しよう」というアイデアでございました。「今日、自由参加で割り勘で焼肉パーティーを開催するぞ。ただしルールをひとつだけ設ける。サッカーの話をしてはならない。サッカーの話はご法度」というルールで大いに盛り上がったそうでございます。お互い知りえなかったパーソナルな情報が共有できた、そしてミーティングの最後に新たな団結心まで芽生えたと彼は自らの本で記しております。

いくら仕事のコミュニケーションの量を増やしてもまったく人望の量につながらない。様々な心理学の実験で証明されております。ただし、パーソナルなコミュニケーションのパイプを太くすれば間違いなく人望の量は増やすことができる。これも様々な心理学の実験で証明されております。

いかにしてリーダーの方々がメンバーの元に降りていってパーソナルなコミュニケーションのパイプを太くするか、これは非常に大事な要素でございます。是非、肝心のお仕事の前後に制限時間30秒間で結構でございます、まず仕事の前にパーソナルなピックから入って頂いて、そして肝心の仕事の話が終わった後に締めくりにやはりパーソナルなコミュニケーションで締めくくる。これこそ、メンバーの方々が気持ち良くさせてくれる、非常に大きな要素でございます。

最近「雑談力」というキーワードの本がベストセラーになっております。是非お好みのタイトルを一つ手に入れて頂いて読んでいただきたいと思います。仕事だけが行きかう組織は殺伐としております。雑談は組織の潤滑油でございます。

リーダーの方々が率先して雑談力を身に着ける。これによって組織全体の風通しがよくなるだけでなく、リーダーであるみなさんの、人望もお一層、高まるということを私は確信しております。

そしてもう一つ「コーチ」という言葉の中に秘められた意味でございます。もう野球用語で使い古された「コーチ」という言葉、語源は「馬車」でございます。もちろん御者(ぎょしゃ)はリーダーでございます。でも、メンバーは馬ではございません。お客様でございます。お客様が行きたいところに連れて行ってやる、これこそが御車であり、リーダーの最重要の役割でございます。

メジャーリーグのコーチの一番重要な仕事は、選手に専門的アドバイスをするものではございません。それは2番目に重要な役目でございます。重要な役目はバッティングゲージから打たれて外野に飛んで行ったボールをバケツで運んでマウンドに持ってくる。これこそがコーチの最も重要な役目でございます。選手が気持ちよく仕事ができる環境作り、黒子に徹して裏方に徹して、そして彼らのポテンシャルを発揮させる。

図表8

- リーダーにとって好ましいアドバイス例
- ・おまえの攻撃のよいところを見せてくれ
 - ・思いっきりプレーしろ。負けの責任はオレがとるから
 - ・おまえ打てるよ。絶対打てるよ。大丈夫、大丈夫
 - ・常におまえを信頼しているから
 - ・ご苦労さん。ケガはなかったか？
 - ・自分の力を最高に出すことに全力を尽くそうよ
 - ・今の練習をやっているだけじゃ、必ず夢は実現するから
 - ・今日のゲームは感動したよ
 - ・悔みがあったらいつでも打ち明けてくれ
 - ・よく頑張ったな
 - ・ありがとう

図表11

- ちょっとした褒め言葉を多用せよ
- ・遅刻をしたことがない
 - ・勤が鋭い
 - ・仕事の締め切りをしっかりと厳守する
 - ・仕事が早い
 - ・いつも明るかた
 - ・笑顔が魅力的だ
 - ・エネルギーが豊富だ
 - ・仕事ぶりが真面目だ
 - ・字がキレイだ
 - ・会社を休まない
 - ・おじぎがキチンとできる
 - ・嫌な仕事も進んでしてくれる
 - ・嫌な仕事を率先してやる
 - ・皆の人気者だ
 - ・言葉遣いが丁寧だ
 - ・趣味が豊富
 - ・知識が豊富だ
 - ・根性がある
 - ・文章表現がうまい
 - ・腹を立てない
 - ・話すのがうまい
 - ・行動がてきぱきしている
 - ・頭がよく回転する
 - ・呑み込みが早い

図表12

- シチュエーション別 褒め言葉の一例
- ◆不安を持っている部下に対して
 - ・君の仕事なら誰の口もはさむヤツなんかいないよ
 - ・君がきつくてできるよ
 - ・大丈夫、君には実力があるからこの仕事をきつとやり遂げることが出来る
 - ◆リーダーとして誇りを評して
 - ・君がはるかなるような部下を持って幸せだよ
 - ・私も勉強になったよ
 - ・部長も君のことを褒めていたよ
 - ◆性格に関して
 - ・明るさが君の取り柄だ
 - ・その真面目な気持ちを大切にしろよ
 - ・君は誰にも人気があるからなあ
 - ◆責任感を表現するために
 - ・これに関しては君が中心になってまとめて欲しいんだ
 - ・最後まであきらめない君の粘り強さが仕事に発揮されてよ
 - ・君がいなかったら、こんな仕事を引き受けたりしないよ
 - ・君の仕事に信頼しない人間なんか一人もいないよ
 - ◆仕事をし過ぎる部下に対して
 - ・体が資本、たまにはゆっくり休めよ
 - ・そんなに頑張らなくていいんだよ
 - ・もう少し仕事を抜いてもいいと思うんだけど……
 - ◆仕事の出来はえに関して
 - ・こんなにうまくまとめてくれるのは思わなかったよ
 - ・仕事とかは早くのには、覚悟してしまふよ
 - ・この課題をこなしていると、君の気持ちも変わってくるよ
 - ・これだけの仕事をできる人間は他の誰にも見当たらないよ
 - ◆成長ぶりを評して
 - ・よくここまで成長したな、もう何も言うことはないよ
 - ・みんなも君の仕事を見習うといいのになあ
 - ・よく勉強しているよ、君は

そして図表8、11、12をご覧ください。

「日本のリーダーの方々は、まだまだ叱りの達人はたくさんおられても褒めの達人はなかなか少ない」というのが実感でございます。もう少し褒めのポキャブラーを増やして頂きたい、というのが実感でございます。そしてメンバーの方々の美点を観察するスキルを高めて頂きたいと思っております。

褒められれば誰でも悪い気は致しません。褒めることによって彼らは自らのポテンシャルを発揮してくれる。叱ることを最小限にとどめてなお一層、褒める達人の仲間入りを果たしていただきたいと思っております。

実はJRA日本競馬会の名ジョッキー武豊さんは自らの本でこう記しております。「自分よりもジョッキーの才能で優れているジョッキーを探すのは全く難しくない。しかし、あなたが他のジョッキーと一番違うところは何かと聞かれたら迷うことなく、「私はムチを最も叩かないジョッキーだと思う」と彼はそう語っております。3コーナー4コーナーで他のジョッキーはこれでもかといわんばかりに馬のしりに鞭を加えます。確かにそこで馬は走ってくれます。でも肝心の直線ではばたつと足が止まります。武ジョッキーは我慢をします。コーナーでムチをたたくの我慢して直線に差し掛かるや否や、タイミングよく一鞭、二鞭、馬のしりに鞭を加える。そこでぐんと馬の脚がのびて真っ先にゴールに飛び込むということでございます。

「ディーブインパクトという馬は賢い馬だった。なぜなら彼は鞭をたたかなくても見せるだけで走ってくれたからだとも語っております。有能なメンバーほど皆さんが鞭を持っているのは痛いほど知っております。できることなら見せることだけで叩かない。そういう我慢強さも持っていたいただきたいと思っております。

以上今日私をご用意した内容すべて皆さんにご披露させていただきました。

最後に私の大好きなイチロー選手のエピソードをご披露して今日の講演を締めくくらせていただきたいと思います。もしもこの出来事が彼の身の上にとこらなかつたら、彼はメジャーリーガーどころか、プロ野球選手にもなっていないという出来事でございます。

それは高校3年生の夏の愛知県予選の準々決勝で起こった出来事でございます。その日、愛工大名電は中京大高校と準々決勝を戦っておりました。そして5回裏が終わった時点で5対3で中京高校がリードしていました。にわかに激しい雨が降ってきて、そのゲームはコールドゲーム、翌日に再試合になります。

非公式のイチロー選手の成績は3打数1安打という平凡なものでございました。もしもその日、雨が降るのが30分遅れて、このゲームが成立して、中京高校が勝利していたら、彼はプロ野球選手になっていないという出来事でございます。

イチロー選手にとって最後の甲子園予選でございます。12球団ほとんどの東海地区のスカウトの責任者がその球場に押しかけて、彼をドラフトに指名するか見送るか、最後の決断に迫られておりました。当時のオリックスの東海地区のスカウト責任者は三輪田勝利(みわた かつとし)さんという人でございました。残念ながら彼はあるドラフト事件に巻き込まれ、沖縄で投身自殺を遂げます。生前彼はこう語っておりました。「もしもあの時、あの日、雨が降るのが30分遅れていたら、あのゲームが成立して中京高校が勝利していたら、私は間違いなく鈴木一郎をドラフトに指名していなかった」と語っていたわけでございます。

そして翌日、再試合でございます。彼は三輪田さんの前で猛烈に打ちまくります。4打数3安打、ホームランまで打って見せました。そして準決勝に勝ち上がってなんと5打数4安打、満塁ホームランまで打って、愛工大名電は決勝戦に進んだと言うことでございます。

その準決勝を勝利した後でございます。三輪田さんが「よしオリックスは鈴木一郎をドラフトに指名する」と、決めたのは。シーズンが終わって帰国して彼が真っ先にやることでございます。神戸湾を見渡せる三輪田さんの墓前に妻の由美子さんと一緒に手を合わせることでございます。三輪田さんが好きだったタバコ一箱、ビール一缶を添えて手を合わせます。「今シーズン、ケガもなく無事に終わることができました。これも空から三輪田さんが見守ってくれたおかげです。あなたのことを終生私は忘れることはございません。なぜならあなたが私の運命を決定的に変えてくれた人なんですから」毎年そういって手を合わせます。

最後になぜこの話をするか。みなさんがどういう組織でどういうポジションであられるか、私は全く分かりません。でもみなさんのポジションが悪く遂行されているのは、皆さんの実力だけではないという事を強調したいからでございます。ご家族のバックアップ、そして何よりもチームメイトの支えによって皆さんのポジションは成り立っている。素直に感謝の気持ちをご家族の方々、あるいは周囲の方々、チームメイトに表していただきたいと思います。

リーダーシップ論の結論でございます。皆さんの最終的な人望の量はパーソナルコミュニケーションの量と感謝の気持ちの量によって決定される。これが人望の結論でございます。

皆様の益々のご健勝をお祈りして今日の講演締めくくらせていただきたいと思います。
ご清聴ありがとうございました。



相沢さん▶児玉さんどうも長時間ありがとうございました。スポーツ心理学から人生の色々なことをアドバイスいただけた感じが致します。せっかくですので質問したい方がいらっしゃいましたらどうぞ。

質問者▶先生のお立場からして、スパルタ教育については、いかががお考えでしょうか。

児玉さん▶ちょっと誤解をしていただきたくないのはオリンピックの選手になるには定員が限られているのでほとんどなれません。それはもう事実です。自分のベストを尽くすということはすごく大事だと思います。今日ポテンシャルの話をしましたけれども、自分のポテンシャルをすべて出し切っている、選手というのはオリンピック選手も含めて皆無だと思っております。せいぜい北島康介選手でも40パーセントから50パーセントだと思います。だから才能のあふれる選手はオリンピック選手を目指していただいたら結構です。でも例えばテニスが好きでも、テニスの才能がない、人は自分のポテンシャルにチャレンジする。これはすごく大事だと思います。イチロー選手はまだだもっと自分を成長させることができると自分で実感しているから未だにバットを置いてないということですね。まだ自分はもっとすごいバッターと巡り合える。だから自分のベストは非常に大事というこ

とです。

例えばオリンピック選手になれるなれないというところは、私はそれほど大事ではないかと思えます。もう一つ、スパルタに関していえばですね、私は井村(雅代)コーチをイメージして頂きたいと思えます。彼女はスパルタ教育の典型例です。でもオリンピック選手以外なら彼女のやり方は通用しないと思えます。オリンピックの選手にのみ、つまりトップアスリートにのみ適合した、システムだから彼女は成功したということですね。つまり、お互い納得して私についてきてくれるかどうかというところをキーとして、だったら私に命を預けないということですね。

実は鹿屋体育大学にも田中教授という柴田亜衣というアテネオリンピック競泳800m金メダリストを生んだ鬼コーチという人がいます。柴田選手が大学1年生、入学してきたときに田中教授は「私に命を預けるか」まずそういう質問をして柴田選手は「預けます」と言って、そこからスパルタが始まったということですね。それをしない場合は、日本の世界ではスパルタというのは全く通用しないということは私の考えでございます。

相沢さん▶では私から一つ、広島黒田投手が「恐怖しかなかった」と今朝出ていたんですが、スポーツ選手というのは今まで児玉さんが今まで見てきた中で、恐怖心しかないという状況の方は相当いらっしゃるのでしょうか。

児玉さん▶ほとんどのトップアスリートの方は恐怖と戦っていると思えます。

相沢さん▶それは一般の我々にも言えるかと思いますが、何か乗り越えなきゃいけない時があるかと思いますが、スポーツ選手はその恐怖心をどのようにして乗り越えていらっしゃるのでしょうか。

児玉さん▶多分スポーツ心理学的に言うと、どうしようもないということ。プレッシャーというのは形のないものです。本人のとらえ方です。

同じ状況でもガチガチにプレッシャーがかかっている人と、まったくかかかっていない人がいます。どっちがいいかという、プレッシャーがかかったほうがいいのかというのが僕の考えです。プレッシャーがかかかってないときに、あまりいい仕事できないと思えます。私の指導している方々はプレッシャーがかかかって恐怖心を持っているときにこそ、いいパフォーマンスを上げているということですね。つまり「あがる」という現象は、いい仕事をする前兆であると思えます。逆にそういったプレッシャーに鈍感な選手は、一見強そうに見えるけれどそれほどではないというのが僕の経験ですね。だからガチガチになったほうがいいのかと思えます。でも本番に突入したらそれは途端に消えてしまっているというのが事実でございます。その本番前のプレッシャーですね、「ホンマでっかTV」の本番直前の、さんまさんにいじられるプレッシャーを楽しみながらやることによって使っていただくことが多くなった。という実感もござります。

相沢さん▶恐怖心とかプレッシャーがあるときにはいい仕事をするときの準備段階だということを前向きにとらえていけば、恐怖心だったり緊張感も楽しめるようになればいいわけですね。ありがとうございます。では講演会はここまでとさせていただきます。児玉光雄さん、ありがとうございました。



以上、児玉光雄氏による「トップアスリートに学ぶ 勝者の思考法」講演会でした！
ありがとうございました！

平成28年度 卒業証書授与式



平成29年3月16日 日本工学院専門学校片柳アリーナにて、卒業証書授与式が挙行されました。片柳鴻理事長、千葉茂学校長の挨拶に続き、各カレッジの代表者に卒業証書が授与されました。また校友会からは、カレッジの中から成績優秀、研究実績、優秀作品賞等で選ばれた学生に、「校友会会長賞」を贈呈いたしました。その後、桂田会長代理の工藤常任幹事、東京商工会議所大田支部会長 浅野健様、一般社団法人大田工業連合会会長 船久保利明様、声優 神谷明様より、日本工学院専門学校を巣立っていく卒業生に、励ましのご祝辞を頂きました。

立派な学内施設で行われた式典は、多くの卒業生の目に焼き付いたことでしょう。学校で得た多くの知識、経験、思い出を胸に、社会で大いに活躍してくれることを期待しています。

第51回 かまた祭

テーマは「Departure 新たなる発展
～輝く翼でその先へ～」



平成28年10月29日、30日の2日間、第51回かまた祭が実施されました。テーマは「Departure 新たなる発展 ～輝く翼でその先へ～」。

昨年、1つの節目となる第50回かまた祭を実施しました。気持ちを新たに、未来を輝かすものにするため、飛び立ち踏み出そう。学校としても更なる発展・進歩を目指そうという想いが込められています。片柳記念ホールでの開会式では、理事長先生や地元自治会長、学校長先生のご挨拶にはじまり、東京実業高等学校のマーチングバンド部には大変盛り上がる素晴らしいパフォーマンスをしていただきました。

今回の目玉はなんと言っても、2年の工事期間を要した「片柳アリーナ」でした。4000人が収容できる大スペースということで、施設を生かしたイベントは大盛り上がりでした。セントラルプラザでの模擬店やイベントをはじめ、片柳ホールや12階ラウンジでも多くのアーティストや芸人、学生たちによるイベントが行われました。また各カレッジでは在校生による教育成果や将来宣言などの発表や展示と盛り沢山の内容となりました。



平成29年度 入学式



平成29年4月8日、昨年完成した片柳アリーナにて入学式が挙行されました。昨年まで日本武道館での伝統ある入学式を思い起こす方も多いと思いますが、今年から新しい歴史がスタートしました。この日は生憎の雨模様でしたが、3号館地下の片柳記念ホールにも映像と音声の中継を結び、ご来場いただいた入学生、多くの保護者の皆様すべてにご入場いただいて入学式が始まりました。片柳理事長、千葉学校長の挨拶に続き大田区長 松原忠義様、地元の衆議院議員 平 将明様、そして本校のダンスパフォーマンス科トータルプロデューサー SAM様からのご祝辞を賜り、在校生による歓迎の辞で式のすべてが終了しました。

その後、期待に胸を膨らませた新生生の多くが、セントラルプラザで記念撮影などを行っていました。

第48回 体育祭

テーマは「超絶怒涛の体育祭ッ！
～輝なる証を刻みこめ～」



5月29日(月) 大田区大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森 陸上競技場において、第48回体育祭を開催いたしました。今回の体育祭も天候に恵まれ、思い出の一つとなる学校行事となりました。

開会式では、「ティアラ」が素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。また、かまたの恋ダンスは学生の心を掴み、より一層体育祭への意気込みを感じさせてくれました。応援ゲストに「ジャスティス」でブレイク中のお笑い芸人「サンシャイン池崎」さんが激励に登場し、盛り上がりは最高値に達しました。今年は、協賛いただいた企業様から栄養ドリンクをいただき、さらなる体育祭の盛り上げのために学生に無料で提供しました。また、Tシャツコンテストでは、多くのクラスがすばらしいオリジナルのTシャツを掲示し体育祭を華やかにしてくれました。

今年も100名近くの学生が運営委員会に入っていたいただき、競技進行、表彰、抽選会などが円滑に行えました。このようなすばらしい学校行事をやり遂げた運営委員会の学生は、達成感と充実感をもとに今後の学生生活を充実されてくれると思います。





第52回

「かまた祭」のお知らせ

平成29年 10月28日(土)・29日(日)

平成29年度 第52回かまた祭は、今年も蒲田キャンパスにて東京工科大学との共同開催で2日間行われます。昨年完成した新施設「片柳アリーナ」や新校舎など、校内を余すことなく利用した盛大な学園祭で皆様の来校をお待ちしております。ぜひ足をお運びください。



★ 多くの方々のご来場をお待ちしております! ★

★ 卒業生の皆様へ

首都圏支部 (東京・神奈川・千葉・埼玉)

「会員の集い」のお知らせ

「神武以来の天才」

日本工学院専門学校へ来たる!!

開催日 平成29年10月28日(土)
第52回かまた祭初日です!

当日のスケジュール

★ 首都圏支部総会

14:00~14:15 (3号館10階31005教室)
首都圏支部の方ならどなたでもご参加いただけます。

★ 校友会設立50周年記念

加藤一二三先生講演会
「負けて強くなる」~わが将棋人生~
講演・棋士 加藤一二三先生 司会・相沢早苗さん
15:00~16:30 (3号館10階31005教室)

入場料無料! 首都圏支部に限らずどなたでも
ご覧いただけます!!

31005教室はご入場いただける人数が限られているため(約300人)、講演会は混雑が予想されます。観覧ご希望の方は、入場の詳細を9月下旬の校友会HP(校友会Net:<http://www.kouyukai.net/>)またはFacebook(P.44ご参照)をご覧ください。また、ご希望者数によっては観覧出来ない場合もございますのでご承知ください。

★ 親睦会

17:00~18:30 (1号館1階 フーズフーⅡ)
親睦会は卒業生ならどなたでもご参加いただけます!

会費:1,000円
(親睦会費用は2,000円ですが、1,000円は校友会で負担します)クラス会・同窓会の1次会として、クラスメイトとの再会の待ち合わせ場所としてご利用ください。

3号館12階の校友会ラウンジを開放して、お飲み物をご用意しています。(無料:お茶やコーヒーなど、時間は未定。また、他のイベントなどを行っている場合がございます)。ご休憩やお待ち合わせの場所としてご利用ください。



校友会設立50周年記念

棋士 加藤一二三先生 講演会

総会・講演会・親睦会

放送制作芸術科 卒業
【テレビ】
TBSお天気お姉さん
テレビ朝日 東京NOW ほか
【CM】
花王・生CM
イセキのさなえ
東京電力
電気予報 ほか多数出演!



司会・進行
相沢 早苗 さん



お問合せ先



日本工学院専門学校

校友会事務局
kouyukai@stf.neec.ac.jp
☎03-3732-8183
(平日:9:00~17:00受付)

f 校友会Facebookのご案内

校友会では、Webサイト「校友会NeT」と並行して、Facebookページを開設いたしました。
「会員の集い」の案内や学校行事の案内等を、写真と共に掲載しています。
また会員同士のコミュニケーションの場としてご利用いただくことにより、
懐かしい名前に出会うこともあるかもしれません。ぜひご覧ください！
（ご覧いただくには、Facebookのアカウント登録が必要です）



<https://www.facebook.com/kamatakouyukai/>

パソコン版



スマートフォン版



日本工学院専門学校校友会 ソーシャルメディアポリシー

日本工学院専門学校校友会(以下、校友会)では、会員・準会員(学生)、教職員ならびに関係者がソーシャルメディア(Web、blog、Facebookなど)を利用するに当たり、以下の姿勢・行動や基本ポリシーを守るものといたします。



基本ポリシー

- (1) 不特定多数の人が利用可能な媒体であるという事を意識し、校友会の会員・準会員(学生)、教職員、その他の第三者に対し不利益や損害を与える行為、プライバシーや財産などを侵害する行為、名誉もしくは信用を毀損する行為、権利や人権を侵害する行為、またはその恐れのある行為をしないよう注意をします。
- (2) 公序良俗に反する行為、犯罪行為または犯罪に結びつく行為、またはその恐れのある行為を行わないように注意をします。
- (3) 特定の個人や集団、または特定の思想、心情、宗教、政治等に対する誹謗中傷や差別的、排他的な発言を行いません。
- (4) 営利を目的とする行為や、宗教、政治の勧誘、またはその準備を目的とする行為は行いません。
- (5) 違法性のあるコンテンツや有害なプログラムを使用する行為、またはその恐れのある行為、誹謗・中傷、差別的表現を含む発言や投稿は行いません。
- (6) 法律、法令または条例に違反する行為、またはその恐れのある行為は行いません。
- (7) その他、校友会が不適切と判断する行為は行いません。
- (8) ソーシャルメディアにおいて発信した情報が、瞬時に伝達され、一度拡散した情報は容易には消去できないことを理解したうえで、表現や記述には細心の注意を払い情報発信を行います。

ご利用の皆様へ

- (1) 校友会公式ソーシャルメディアの利用は、利用者の責任において行われるものとし、ご利用中に発生した直接・間接の損失・損害に対し、校友会はいかなる責任も負いません。
- (2) 校友会は情報をソーシャルメディア上に掲載する際には、細心の注意を払いますが、その内容の正確性、妥当性、ご利用目的への適合性、安全性について保証するものではありません。
- (3) 校友会は、予告なしに掲載内容を変更・削除することがあります。また、予告なしにソーシャルメディア自体の運営を中断または中止することがあります。
- (4) 校友会公式ソーシャルメディアに掲載されている情報(内容、商標、標章、ロゴマーク、画像、音声等を含む)に関する一切の著作権、商標権、その他の知的財産権は、原則、校友会に帰属します。また、無断で、私的利用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、複製等することを禁止します。
- (5) 校友会公式ソーシャルメディアのご利用に際しては、日本工学院専門学校校友会ソーシャルメディアポリシー「基本ポリシー」および「ご利用の皆様へ」を遵守しご利用くださいますようお願いいたします。

キャリアサポートセンターからの報告



キャリアサポートセンターでは、就職・進学とあらゆる進路先のサポートをしています。求人募集は、景気上向きの為、順調に推移をしておりますが、厳選採用は変わりありません。学生にとっては就職活動も社会人になるための大きなステップであり、不安を持ちながらも勇気を持ってチャレンジしている状況です。その様な中、各方面で諸先輩方が活躍されているおかげで、求人を引き続き頂くことができ感謝しております。

当センターでは、業界ごとの「合同企業説明会」、企業ごとの「個別企業説明会」を開催しております。諸先輩方の活躍をお聞きするたびに、社会人になる厳しさと共に、生き生きと活躍されるお話しをお聞きし、卒業後の進路に向けて夢を膨らませています。今後さらに校友会の皆様と協力して学生のやる気を高めていただきたいと思います。

また、地元就職の状況や求人などございましたら、ご一報いただきたくお願いいたします。学内行事等でご来校されたときは、3号館1階のキャリアサポートセンターに、ぜひお立ち寄りいただき、情報交換などお待ちしております。



平成29年度 キャリアサポートセンター行事日程表（一部掲載）

	開催予定日	期間	行事名	参加予定	場所
1	平成29年3月7日(火) 実施済み	1日間	合同企業説明会	50社	3号館12階 学生ラウンジ
2	平成29年4月18日(火)～20日(木) 実施済み	3日間	春季合同企業説明会	408社	片柳アリーナ
3	平成29年6月7日(金) 実施済み	1日間	大田区企業合同説明会	29社	ギャラリー鴻
4	平成29年7月7日(金) 実施済み	1日間	ポートフォリオプレゼン講習会(デザインカレッジ)	未定	6号館教室
5	平成29年9月26日(火)	1日間	学生作品プレゼン講習会(クリエイター・デザイナー)	未定	3号館教室
6	平成29年10月10日(火)	1日間	秋季合同企業説明会	未定	片柳アリーナ
7	平成29年11月6日(月)	1日間	音楽産業系企業限定セミナー	未定	中野サンプラザ
8	平成29年11月25日(土)	1日間	審査会(声優・演劇科)	未定	31005教室(予定)
9	平成29年11月	1日間	医療機関合同説明会	未定	未定

求人情報ご提供のお願い

当校後輩学生へのご求人、業界へのアルバイト情報が有りましたら、下記までご連絡ください。尚、お問い合わせの際には、当校のOB&OGである旨をお伝えください。

お問い合わせ先

日本工学院専門学校

教育・学生支援部 キャリアサポートセンター担当

TEL:03-3732-5610(直通) FAX:03-3732-1123

E-Mail: job-kamata@stf.neec.ac.jp

Webからの直接求人申込(新卒対象のみ)は

当校HPより「採用企業の皆様へ」のバナーよりご入力ください。



写真でみる 校舎の変遷



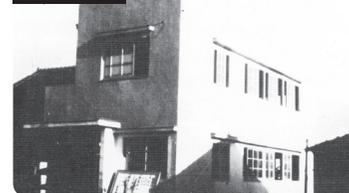
昭和22年(1947年)5月、理事長 片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5丁目)に絵画、洋裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来66年間の歴史を誇る校舎の変遷をたどりました。

昭和22年



創立時の校舎

昭和24年



増築校舎が完成

昭和28年



木造校舎が完成

昭和30年



増築した木造モルタル2階建て校舎

昭和33年



1号館が完成

昭和40年



2号館が完成

昭和44年



3号館が完成

昭和45年



5号館が完成

昭和47年



当時の6号館(旧5号館)が完成

昭和54年



7号館が完成

昭和55年



6号館(旧5号館)が完成

平成13年



8号館が完成

平成17年



アニメ・デザイン館(6号館を増築)が完成

平成20年



平成21年



平成26年



平成29年

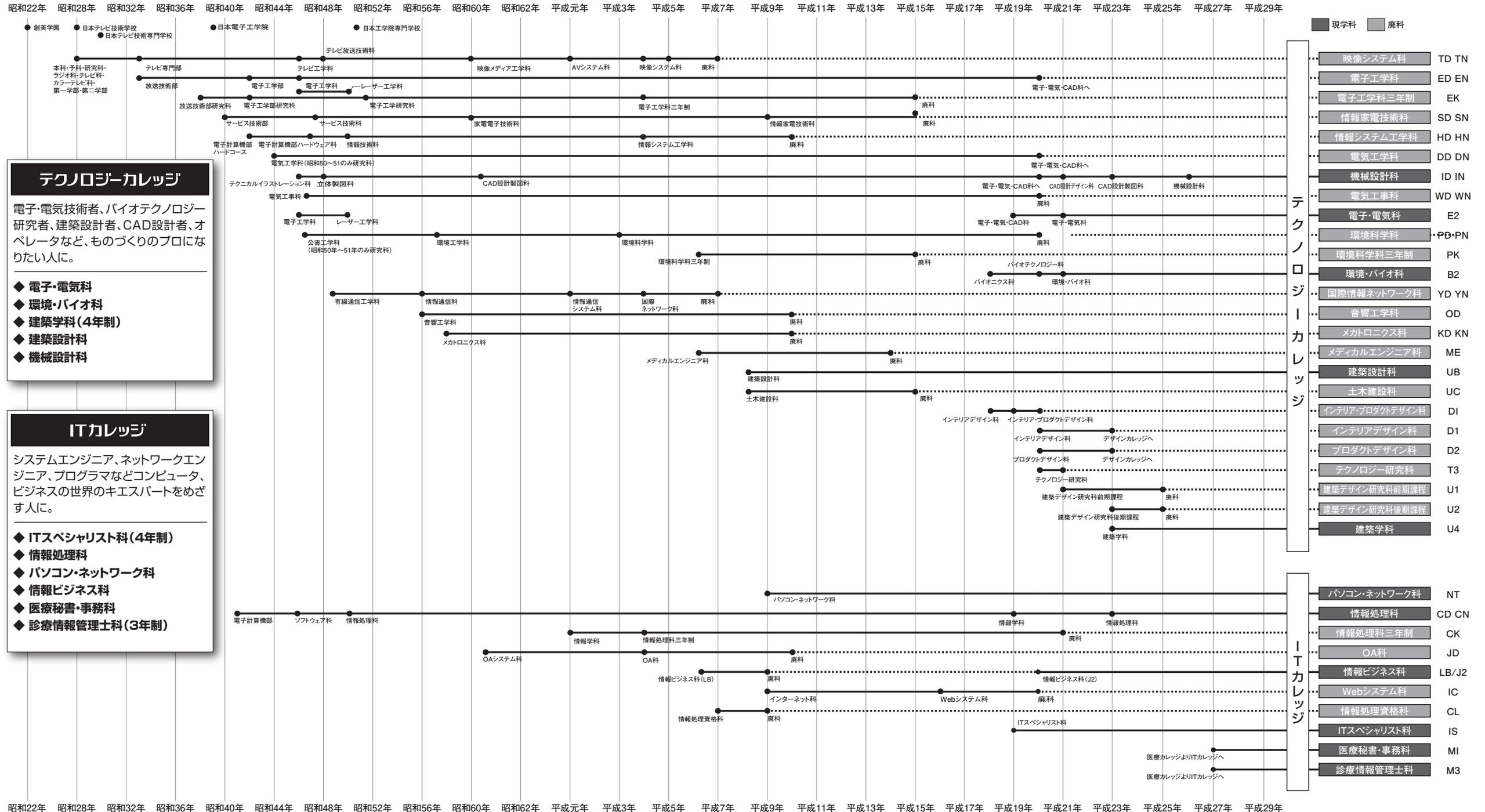


新1号館、2号館、地下に片柳アリーナが完成

蒲田校 学科の変遷

実践的なカリキュラムで学べば、
あなたの未来は無敵大。
あらゆる業界をカバーする多彩な学科群。

日本工学院(蒲田)には、それぞれに高い専門性を備えた6つのカレッジのもと、個々の分野で真に
社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人
として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院
という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。



昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年 平成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年 平成21年 平成23年 平成25年 平成27年 平成29年

■ 現学科 ■ 廃科

クリエイターズカレッジ

ゲームやアニメ、CG、テレビや映画で活躍するディレクターや声優・俳優、デザイナーなどをめざしたい人に。

- ◆ 放送・映画科 / 放送芸術科
- ◆ 声優・演劇科
- ◆ マンガ・アニメーション科四年制
- ◆ マンガ・アニメーション科
- ◆ ゲームクリエイター科四年制
- ◆ ゲームクリエイター科
- ◆ CG映像科(3年制)

デザインカレッジ

デザイン力、キャリアデザイン、人間形成の3要素をバランスよく学び、ワンランク上のデザイナーをめざす人に。

- ◆ グラフィックデザイン科(3年制)
- ◆ インテリアデザイン科(3年制)
- ◆ プロダクトデザイン科(3年制)
- ◆ Webクリエイター科(3年制)

ミュージックカレッジ

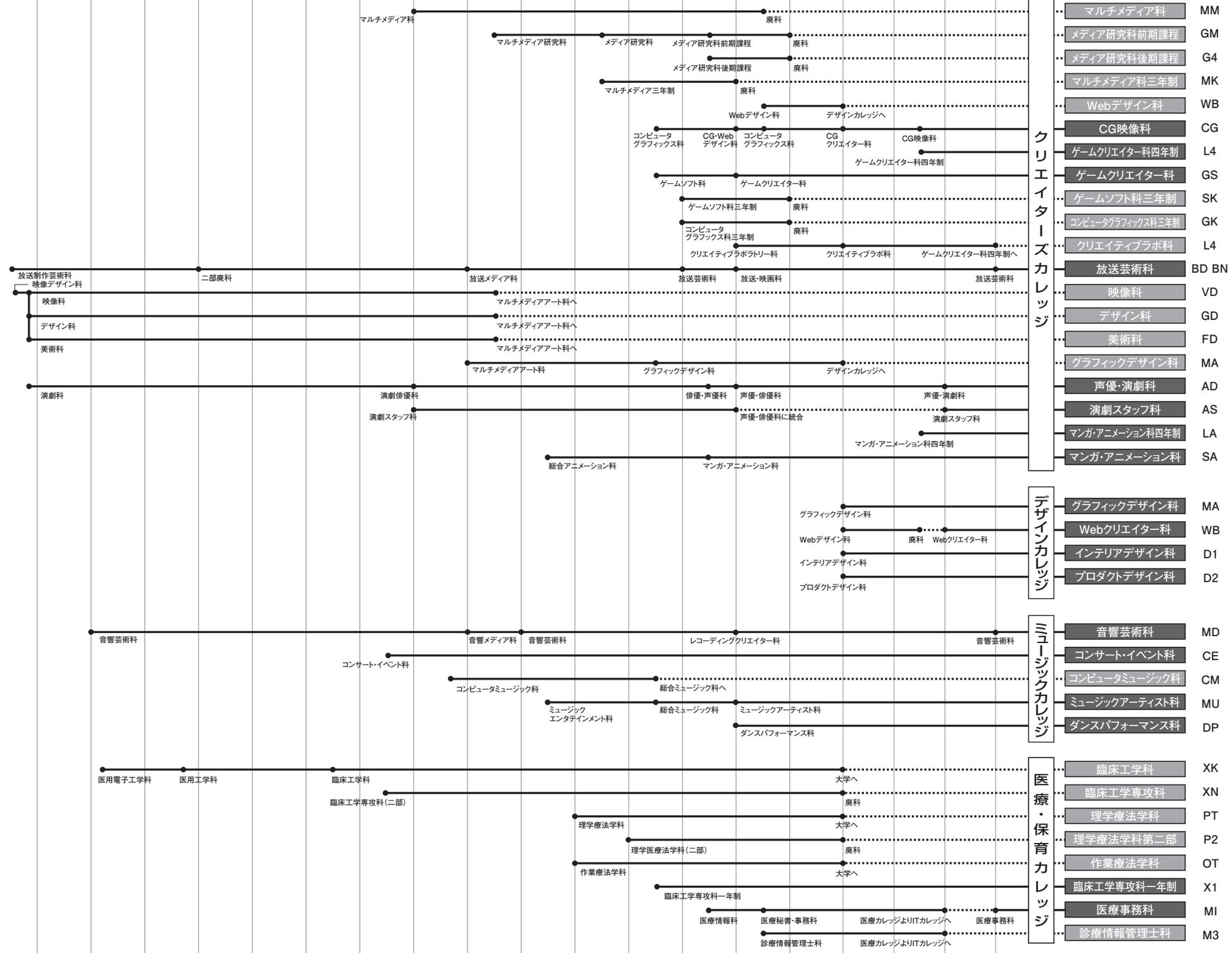
ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。

- ◆ ミュージックアーティスト科
- ◆ コンサート・イベント科
- ◆ レコーディングクリエイター科 / 音響芸術科
- ◆ ダンスパフォーマンス科

医療・保育カレッジ

臨床工学技士、医療秘書、診療情報管理士など、医療分野のスペシャリストをめざしている人に。

- ◆ 臨床工学専攻科一年制
- ◆ 医療事務科



- マルチメディア科 MM
- メディア研究科前期課程 GM
- メディア研究科後期課程 G4
- マルチメディア科三年制 MK
- Webデザイン科 WB
- CG映像科 CG
- ゲームクリエイター科四年制 L4
- ゲームクリエイター科 GS
- ゲームソフト科三年制 SK
- コンピュータグラフィックス科三年制 GK
- クリエイティブラボ科 L4
- 放送芸術科 BD BN
- 映像科 VD
- デザイン科 GD
- 美術科 FD
- グラフィックデザイン科 MA
- 声優・演劇科 AD
- 演劇スタッフ科 AS
- マンガ・アニメーション科四年制 LA
- マンガ・アニメーション科 SA
- グラフィックデザイン科 MA
- Webクリエイター科 WB
- インテリアデザイン科 D1
- プロダクトデザイン科 D2
- 音響芸術科 MD
- コンサート・イベント科 CE
- コンピュータミュージック科 CM
- ミュージックアーティスト科 MU
- ダンスパフォーマンス科 DP
- 臨床工学科 XK
- 臨床工学専攻科 XN
- 理学療法学科 PT
- 理学療法学科第二部 P2
- 作業療法学科 OT
- 臨床工学専攻科一年制 X1
- 医療事務科 MI
- 診療情報管理士科 M3

昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年 平成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年 平成21年 平成23年 平成25年 平成27年 平成29年

片柳アリーナ完成記念公演 ～感謝の調べ～ 開催!

片柳学園創立70周年記念事業「蒲田キャンパス再整備計画」が完了し、セントラルプラザの地下に片柳アリーナが完成いたしました。約4200人もの収容力を誇る片柳アリーナは、授業や運動サークル、様々なイベントなどで使用されます。



その完成を記念して、日ごろよりお世話になっております企業・行政関係者、近隣にお住まいのみなさま、そして校友会の各支部長・顧問のみなさまをお招きし、10月9日(日)片柳アリーナにおいて、学校法人片柳学園主催 片柳アリーナ完成記念公演 ～感謝の調べ～ を開催いたしました。

大勢の皆様においで頂き、盛大に行われました!



「日本工学院卒業展2017」開催しました!

●日時：2017年3月10日(金)・11日(土)・12日(日) ●場所：片柳アリーナ・ギャラリー鴻

2017年度の卒業制作展は、片柳アリーナ・ギャラリー鴻にて開催されました。各カレッジの企業課題や、日本工学院が設置する10学科の学生たちが火星移住をテーマにコラボレーション企画する学科横断プロジェクト「MARSプロジェクト2017」など、多彩な分野のプロを目指す総合専門学校ならではの展示が並べられ、多くの方々に来場いただきました。

2017年度は、3月2日～4日(予定)にて行います。ぜひ足をお運びください。



校友・交遊

集まっています!

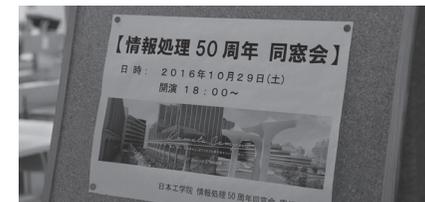
校友会ホームページ上の「校友会全国支部ブログ」および「同窓会等のお知らせ」で、各支部の活動報告、懇親会・親睦会報告、同窓会報告などの記事が掲載されておりますのでご覧ください。

校友会ホームページのアドレス <http://www.kouyukai.net>

★「情報処理50周年 同窓会」実施報告!

▶日時：2016年10月29日(土) 18:00～19:30 ▶場所：蒲田キャンパス1号館 FOODS FUU2

校友会の皆様のご支援のもと、情報処理科の前身である電子計算機部の創設から50年の節目を迎えることが出来ました。また、蒲田キャンパス再整備事業のもと「片柳アリーナ」をはじめ新しい2号館実習棟や1号館クラブハウス棟、セントラルプラザの完成と合せ、50周年同窓会を開催しました。当日は「第51回かまた祭」も開催され、午前中から多くの卒業生の方々にキャンパスへお立ち寄りいただきました。120名ほどの参加者が集い、千葉 学校長、桂田 校友会会長の挨拶で会がはじまりました。同級生や先輩・後輩方と、また先生方と会話が飛び交い、懐かしさの中、話も大いに盛り上がりました。会場内のプロジェクターに懐かしい先生方の写真をスライドショー投影しながら、恩師の代表として、佐々木秀夫先生や早田龍治先生に昔懐かしいお話をいただきました。



最後は全員で記念撮影を行い、情報処理科30期ご卒業の中山敬二様による閉会の挨拶で同窓会は締めくくられました。



クリエイターズカレッジ CG映像科

マルチメディア科CGコース、コンピュータグラフィックス科、クリエイティブラボラトリー科CGラボ、CGクリエイター科、そしてCG映像科の卒業生の皆様お元気ですか？日本工学院のCG教育を担う本学科はマルチメディア科CGコースから始まり、名称や在学年数などを変えながら、現在はCG映像科(三年制)とゲームクリエイター科CGコース(四年制)の2学科体制となっております。

かつて5号館の1階に実習室“デジタルラボラトリー”を構えていた本学科は、8号館を経て平成22年度より新3号館の8階に移りました。トピックスとしては、2年前から元ディズニー・アニメーションで「アナと雪の女王」や「ベイマックス」などの作品に携わった糸数弘樹氏を顧問として招聘し、現在ロサンゼルスのご自宅から毎週遠隔による実習を行っていただいております。その他の近況については、学科のホームページとブログをご覧ください。

学生はというと今も昔も変わらずアニメ、ゲーム、映画好きで、毎日、放課後解放で作品制作に励んでおります。最後になりますが、ぜひ、かまた祭(今年は10月28日、29日開催予定)などで母校に顔を出して頂き、近況を教えてください。皆様にお会いできることを楽しみにしております。



上段左から：佐藤先生、細川先生、谷口先生、松永先生、神野先生、小澤先生
下段左から：寺岡先生、金光先生、中原先生

ITカレッジ ITスペシャリスト科

ITスペシャリスト科の卒業生の皆様、お元気ですか？

ITスペシャリスト科は今期、11期目を迎える事ができました。一期生が入学した2007年は、ちょうど史蒂ブジョブズによって初代iPhoneが発表された年であり、ITスペシャリスト科の歴史はまさにスマートフォンの歴史と重ねることができるでしょう。3年前からは時代のニーズに合わせ、モバイルアプリ専攻も設置されています。また、今後はIoTやセキュリティといった分野での需要の高まりがあるので、そういった技術や知識をもった学生を排出すべく、カリキュラムも大きく変えつつあります。

学生時代に実践的な経験を積むことも目標としている本科においては、ロボットコンテストやセキュリティコンテストなど外部での活躍も目立つようになり、1年生から4年生まで、学年を超えて先輩と後輩がともに目標に向かって努力するゼミのような形の教育も徐々に浸透してきました。思った以上にITスペシャリスト科の学生同士の仲間意識は強いです。ITカレッジの中でも少数派だからかもしれません。

そういった中で、現在各社で活躍されている皆様も、在校生に経験を伝えていただければと思っています。学校でもいいですし、元担任の方に久しぶりに連絡を入れていただけるとありがたいです。お互いの情報交換もできますし、何より4年も一緒に過ごした担任は皆様の事を覚えています。プロで活躍する皆様の姿を見るのは我々教員にとって、何よりも励みになります。



写真左から：井上先生、中西先生、黛先生、白幡先生、勝島先生、大矢先生

デザインカレッジ プロダクトデザイン科

プロダクトデザイン科の卒業生の皆様お元気でしょうか？ようやく今年で設立10周年を迎えることになりました。思い返せば、1期生の皆さんと過ごした様々な取り込みが伝統となり、多くの優秀な学生を社会に輩出できる自慢の学科となっております。ここ数年ですが、いい縁があり卒業生が結婚をしたという風の便りがいくつか届いています。(そんな私も結婚2年目になります…)さらに、お世話になったすべての非常勤の先生も、ご結婚、ご結婚して新しい家族が増えたりと、尖がった学科のイメージから、ほのぼのの感があり、子育ての話なども会話で出てくる今日この頃です。(現在、3人の先生に赤ちゃんがいます)

実習環境のほうでは、本格的に木工と陶芸の制作ができるようになり成形合板を使った家具の制作や陶磁器の食器デザインなど学生の作品のクオリティーも高まっています。3Dプリンターの導入でモデリングしたデータを出力してデザインを確認したりできるようになり、より良い環境になって来ています。お忙しいとは思いますが、お時間がありましたら、声を掛け合って、学校にお立ち寄りください。懐かしい話に花を咲かせましょう。



写真左から：秋山かおり先生
加賀武見先生・吉田真也先生

テクノロジーカレッジ 環境・バイオ科

卒業生の皆様、変わらず活躍の事と思います。環境・バイオ科も設立から10年を過ぎ、ここ数年で大きく様変わりをしています。金田先生、天野先生がご定年により退職されて非常勤講師で教えられるようになり、八王子校の応用生物学科から野崎先生が戻られました。それと同時に環境コース・化粧品コースのコース制を廃止、環境・応用化学・分析化学の3専攻を新たに設けて、全員が同じカリキュラムを学ぶようになりました。職業実践専門課程の認定学科となり、社会的なニーズに応えられる人材を送り出せるよう、毎年、少しずつですがカリキュラムを刷新しています。また、「人間力」の重要性が増していることから、ヒヤリ・ハット報告など様々な取組を実施しています。これらの取組みの甲斐があって、ここ数年に掛けて、企業の方からの評価も上がり、就職状況は非常に良好です。特に歴史のある環境分野では、卒業生がご在籍されている企業様も多く、卒業生のご活躍が本学科の強みとなっています。テクノロジーカレッジで唯一化学を学ぶ学科として、これからも存在感を発揮できるよう、努力していく所存です。

卒業生の皆様におかれましては、お忙しいこととは思いますが、お近くにお越しの際や「かまた祭(10/28・29)」には、ぜひ学校にお立ち寄りください。教員一同、皆さんとお会いできることを心待ちにしております。



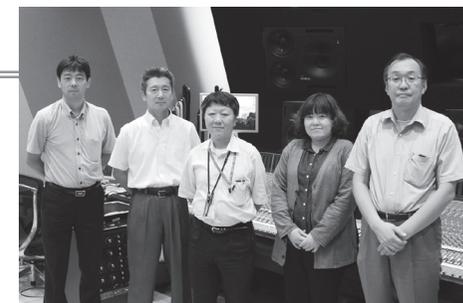
写真左から片山先生、野崎先生、森宮先生

ミュージックカレッジ 音響芸術科

音響芸術科、音響メディア科、レコーディングクリエイター科の卒業生の皆様、お元気ですか？

学科の近況報告をしますと、今年度(2017年)から、学科名を「音響芸術科」に戻し、37期生を迎えています。

さらに実習場であるスタジオを5年前の2012年に6号館5階に新設移設しております。皆さんの思い出の場となる1号館、2号館も昨年新設移設し、跡地は駐車場となってしまう昔の面影が無くなってしまいました。細かい教育内容は、時代に反映しブラッシュアップさせていますが、音楽・放送の技術者の育成という目的は昔から変わっていません。今では、卒業生が講師、教員として帰ってきて来て、教える立場で学科を盛り上げて来ています。皆様のご活躍の様子なども聞ければ嬉しいので、蒲田にお越しの際は是非お立ち寄りください。皆様の更なるご活躍を期待しております。



写真左から我妻先生、野瀬先生、増田先生
藁輪先生、横田先生

平成29年3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。

氏名	所属等（退職時）
濱水 一彦	蒲田校 教材管理部
高橋 忠雄	蒲田校 教育・学生支援部
小栗 好樹	蒲田校 教育・学生支援部
荒井 章吉	蒲田校 クリエイターズカレッジ
菊地 一郎	東京工科大学附属日本語学校
久保 康生	東京工科大学 八王子校 情報サービス課



永年のご指導ありがとうございました！

学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 教員募集のお知らせ

日本工学院専門学校では全学科にかかわる教員(正規職員・契約職員)・非常勤講師の募集をしております。ぜひ、卒業生の皆様のスキルを後輩の育成にお役立て下さい。本校の教育理念にご賛同いただき、教育に熱意のある方のご応募をお待ちしております。卒業後、実社会で経験され、身につけられた知識、技術及び社会人として必要なマナーを活かし、教育に熱心に取り組むことができる方を希望しております。なお応募学科によって求めるスキル、募集資格等が異なりますので、詳細は下記のホームページをご覧ください。

応募学科

全カレッジ 全学科

応募資格（教員）

年齢：40歳まで
(カレッジによって異なります。)
学歴：専門学校卒業以上

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
日本工学院専門学校 教育・学生支援部 教員採用担当 宛
E-mail: noda@stf.neec.ac.jp 教育・学生支援部 野田

お問い合わせ先

URL : <http://www.katayanagi.ac.jp/recruit/index.html>

※ホームページに掲載のない学科については下記までお問合せください。

入学金免除制度



学校法人片柳学園の設置する学校(日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、東京工科大学)卒業生子女、兄弟姉妹および孫又は在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。

該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に出願書類と共に提出してください。

兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教育・学生支援部へ申請し、手続きを行ってください。

※「入学金免除申請書」の受付は、平成30年3月30日までとします。

「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の
「各種資料請求用紙」にて請求

▼

教育・学生支援部より
「入学金免除請求書」を送付

▼

必要事項を記入・押印

▼

出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送



WEB

日本工学院専門学校ホームページ
(www.neec.ac.jp)

▼

画面右側、「卒業生のみなさんへ」

▼

入学金免除制度説明ホームページ
(www.neec.ac.jp/graduate/ob.html)
PDFファイルにて
「入学金免除申請書」をダウンロード

▼

必要事項を記入・押印

▼

出願書類と共に教育・学生支援部へ郵送

かまた題字作家紹介



本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銈介(セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校6号館東側に流れる呑川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院研友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。

芹澤銈介先生 略歴

- 明治28年(1895) 静岡市に生まれる。
- 大正5年(1916) 東京高等工業学校図案科卒業。
- 大正14年(1926) 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一転機となる。
- 昭和3年(1928) 沖縄紅型に感銘を受ける。
- 昭和6年(1931) 雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。
- 昭和7年(1932) 国画会会員・川端康成「雪国」装幀。
- 昭和9年(1934) 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。
- 昭和13年(1938) 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型の技を受ける。
- 昭和20年(1945) 型染めカレンダー創始。
- 昭和24年(1949) 女子美術大学教授となる。
- 昭和31年(1956) 型絵染で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。
- 昭和38年(1963) 大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。
- 昭和41年(1966) スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。
- 昭和51年(1976) 文化功労者となる。フランスの国立グラン・パレ美術館において「芹澤展」開催。
- 昭和58年(1983) フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。
- 昭和59年(1984) 4月5日死去(享年89歳)。

個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ◆ 校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ◆ 会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会に関する目的(校友会誌「かまた」並びに「校友会会員の集い」の案内・議事録の発送、出欠の確認、学校法人片柳学園からのお知らせなど校友会が認めた業務)のみで使用いたします。また、会員に対する校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ◆ 校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
- ◆ 個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
- ◆ 会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口(koyukai@stf.neec.ac.jp)までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ◆ 校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

～会員近況メッセージ～

お元気ですか?

全国から、海外からこの1年間に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況報告。

思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声がいふかり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり・・・。

このコーナーが、そのような温かい出会いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。



氏名(旧姓) / 住所(都道府県)
学科 / 卒業年 / 期の順で表示しています。
【順不同】 ※イラストはイメージです

吉田 裕一 栃木県
演劇科 平成6年卒業 第17期生
今は、警備職をしていますが、休憩時間に、毎週日曜日00:00～00:30のAMラジオ文化放送を聞いていると、当時、日本工学院専門学校に通っていた事を思い出します。通っていた当時は、舞台照明の資格を取得出来たし、東京ディズニーランドを訪問できたのも良かったし、充実感があって楽しかったです。皆様も身体には十分注意して、日本工学院専門学校提供のラジオ番組を聞いた方が良いでしょう。

金村 笑子 大阪府
環境工学科 昭和59年卒業 第11期生
家庭菜園に励んで、古代米も育てています。合間に時々仕事をしています(笑)。

細谷 勇悟 神奈川県
CAD設計製図科 平成5年卒業 第21期生
工学院卒業生が半数を占める会社を作りました!

浅賀 利子(旧姓:三橋) 埼玉県
美術科 平成3年卒業 第15期生
千葉県にある「グループホーム」にて生活をしておりまして、この度ご縁がありまして、同い年の男性と2016年8月10日に入籍致しました。現在は彼と彼のお父さん、私の3人で彼の実家にて生活しております。まだまだ「新婚気分」が抜けませんが、体調の良い日にはデイケアに行ったりしております。主治医から「就労許可」が降りていない為に仕事はしていません。芸術専門課程美術科の14期の皆さん、お元気ですか? 先生方もお変わりありませんか? 私は大丈夫です。幸せいっぱい日々を過ごしております。

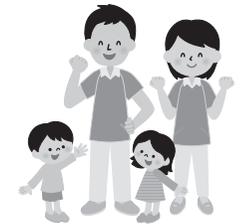
牧野 信良 東京都
電子計算機部ソフトコース 昭和44年卒業 第2期生
義母の介護の為、今までの仕事を辞め引越同居し自宅出来る高校の同窓会の卒業生人物史等の資料調査や税務署対策の勉強をしています。

杉山 浩道 神奈川県
電子工学科 平成7年卒業 第56期生
卒業してから20年近くになりますが元気で頑張っています! 蒲田の街並みや校舎も在籍時と比べ、かなり変わりましたね。

小川 慎嗣 千葉県
電子工学科三年制 平成7年卒業 第32期生
平成7年4月入社以来、NTTの専用線関連の業務をしています。現在は専用線等の故障対応に関する業務を行っています。

白田 和幸 東京都
電子工学科三年制 平成8年卒業 第33期生
仕事はありますが、人が足りません。人材を探しています。

藤代 貴史 神奈川県
医用電子工学科 昭和62年卒業 第4期生
医療とは全く無関係な仕事をしてますが、工学院で学んだことは無駄になっていません。5才と3才の子供がいますので、これから頑張ります。



倉橋 博昭 神奈川県
音響芸術科 昭和62年卒業 第5期生
卒業して30年になります。今年はぶらっと母校へ行きたいと思っています。随分と変わってしまいました。

田中 昌代	神奈川県
ソフトウェア科	昭和47年卒業 第8期生

最近囲碁を始めました。難しいです。楽しさはまだまだですが、頑張っています。

柳田 憲一郎	神奈川県
テレビ専門部	昭和46年卒業 第17期生

榎東芝定年後、心機一転1人で作業がしたく、在籍中に取った免許からマンション管理人を行っています。

中嶋 順二	神奈川県
テレビ放送技術科	昭和56年卒業 第31期生

卒業してから早いもので35年が過ぎました。5人の子供も大きくなりました。工学院で過ごした日々は楽しかったです。また、学んだことが現在も活かされています。

首藤 紀人	埼玉県
電子工学部	昭和43年卒業 第18期生

平成28年3月に仕事を卒業して、4月から大学3年に編入して社会福祉を勉強中。楽しいです。

松本 政己	大阪府
メカトロニクス科	昭和61年卒業 第2期生

地元のはり灸院で院長になって5年です。地域に根付いて頑張っております。卒業から数えると30年。髪も白いものも増えました。

大越 昭彦	神奈川県
OAシステム科	平成3年卒業 第4期生

しばらく仕事を休んでいましたが、また日本工学院専門学校で学びたいと思っています。

加賀 直美	茨城県
公害工学科	昭和52年卒業 第4期生

福島から茨城に避難して5年が経ちました。今ではこちらに家を建て、何とかやっています。多摩川寮202号のみんな、元気でやってるか〜。



山岡 隆三	東京都
テレビ工学科	昭和47年卒業 第19期生

43年勤務した会社を定年退職して、スポーツクラブとシルバー人材で過ごしています。

須崎 繁一	静岡県
研究科	昭和45年卒業 第7期生

本誌にて46年ぶりの小林稔さん健在の報せを目にし、教室で肩を並べた若き旧友の写真帳を眺め、懐かしかった。卒業式終了後に仲間たちと食べたすき焼きの味は忘れていない。同席の華蔵閣、長井、柳沢は元気か？ 投稿を希望する。

志賀 幸徳	東京都
情報処理科	昭和61年卒業 第29期生

約30年ぶりの会誌拝見しました。あつという間の年月経過でした。皆様とはまたお会いしたいです！

星月 征男	愛知県
電子工学部	昭和43年卒業 第18期生

OBの皆様、全国的に校友会の動向はいかがですか？ 校友会愛知県支部の集いへ20年以上参加していますが、現状は自身を含めメンバーの固定・高齢化で寂しい集まりです。愛知県出身の知人の紹介を是非お願いします。「日本一元気愛知県支部」へ活性する応援と知恵をお知らせください。先般NHK・TVで東京デープ蒲田編を見ました。工学院的の学生がほんの少しですが映像で見ることができ、気持ちが嬉しくなりました。

濱野 準一	埼玉県
電子工学科	昭和60年卒業 第46期生

会社をやっていましたが、破産してしまいました。60歳でリスタートとなりました。ただ人生諦めていません。

平岡 あゆみ	千葉県
情報処理科	平成元年卒業 第32期生

長男が20歳になりました。成人式を迎えます。私と同じく専門学校で学ぶことを選び、20歳で親元から巣立っていきます。私の両親も同じ気持ちで卒業を見守っていたのですね。

米山 寛	徳島県
公害工学科	昭和57年卒業 第9期生

地方の金融機関で働いております。工学院での勉強は人生で最高の時期でした。定年まであと2年くらいになり、当時の勉強を活かせるところへ再就職を考えているところです。

相築 裕	東京都
放送制作芸術科	昭和52年卒業 第1期生

タクシードライバーの傍ら、タレント事務所に所属し、TVCMやドラマに出演しております。以前の近況では「ぬいぐるみ劇団」に所属と記載しましたが、現在は退団しました。

田港 朝広	沖縄県
電子工学科	昭和56年卒業 第42期生

30年ぶりにソフトテニス始めたが、頭と身体がバラバラ…思い通りにいかない！ みんな元気か？

木村 久人	神奈川県
電気工学科	昭和50年卒業 第8期生

卒業後30数年が過ぎました。平成3年に起業し、今も頑張っています。

山崎 菜李 (旧姓：安藤)	山形県
コンサート・イベント科	平成15年卒業 第8期生

10年前に東京から地元へ戻り、もうすぐ結婚9年目です。今年、初台湾に行ってきました。10周年はどこ行こうかなあ〜？

玉手 由架子 (旧姓：富山)	宮城県
放送芸術科	平成20年卒業 第32期生

地元のテレビ局で働いたりしていましたが、結婚と引越をし、今はのんびりした生活を送っています。

二階堂 稔	山形県
サービス技術科	昭和54年卒業 第25期生

身体に障害を持ちながらも、公私共に頑張っています。

天野 正徳	香川県
サービス技術科	昭和47年卒業 第11期生

電機メーカーへ商品を注文すると仕入れ価格が高くて物がない…。現金問屋からは週に1〜2回価格・商品情報が届いて、注文するとかなり安く手に入る…。それでは電機メーカーが元気がないの…！

三森 繁	福島県
電子工学部	昭和45年卒業 第22期生

白河の関にて、そば屋を経営しております。バイクライダーのため、ライダーズピット白河関を開設し、福島県内外のイベント等の紹介、また、道路案内などを行っています。是非お立ち寄りください。

吉田 静	福島県
テレビ放送技術科	昭和56年卒業 第31期生

TVのCMで工学院がますます発展していることを卒業生として誇りに思っています。卒業して36年が経ち、学生の頃を懐かしく思います。工学院のますますの発展を願います。

木村 敏久	福島県
情報処理科	昭和59年卒業 第27期生

情報処理科卒ですが、これまで様々な仕事を経て、現在は廃棄物関連の運搬の仕事をしています。リサイクルの世の中に貢献!!

熊田 重信	福島県
電気工学科	昭和49年卒業 第6期生

卒業してから45年以上が過ぎ、その間2回ほど福島の会場で、校友会に参加させていただきました。その時の皆さんにお会いしたいのですが、時間が取れず申し訳なく思っています。来年こそお会いしたいと願っています。

鈴木 信吾	福島県
電子工学科	平成6年卒業 第55期生

頑張ってます！ 仕事も折り返し地点を過ぎました。(定年退職が60歳ならば…)

石川 欣正	福島県
サービス技術科	昭和52年卒業 第21期生

私は、昼間働いて夜間に勉強させていただきました。早いもので卒業して40年が過ぎましたが、つい先日のように思い出されます。私は卒業してからいろいろな仕事に恵まれましたが、今年が定年を迎えることになりました。学園でのことが、今までにプラスに働いて良い人生が送れた事に感謝しております。

小林 広一	福島県
情報処理科	昭和55年卒業 第23期生

会津若松市でタクシードライバーをしています。タクシーも車もコンピュータの時代ですよ。



朝鳥 一博	北海道
テレビ専門部	昭和39年卒業 第3期生

お蔭様で元気ですよ。「我・未だ旅の途中」よろしく、ありがとう73歳。歌が大好き、感謝して生きていますよ。

松浦 立尚	北海道
放送技術部	昭和40年卒業 第12期生

皆さん、何かスポーツはしていますか。ダンススポーツ(社交ダンス)始めませんか。ダンススポーツを通じて生涯スポーツとして健康管理、健康長寿などに貢献する身近なスポーツとして、一人でも多くの人に楽しんでもらいたいと思っています。もちろん私も楽しんでいます。



渡辺 国男	栃木県
公害工学科	昭和52年卒業 第4期生

今年73歳になりました。週3日のトレーニングセンターでの水泳と月2回の水墨画を楽しんでおります。2003年～2005年まで中東のシリアへ技術指導、2006年～5年ほど定年時の会社の協力場で技術顧問として楽しく仕事をしてまいりました。これからも適当にやっていきたいです。

高橋 峰樹	青森県
美術科	昭和58年卒業第7期生

似顔絵師として、様々なイベントで活躍中です。

澤田 広一	兵庫県
医用電子工学科	昭和62年卒業 第4期生

50歳を過ぎ、なかなか皆さんにお会い出来なくて、昔を寂しく思い出しております。

男澤 進	福岡県
電子工学研究科	昭和60年卒業 第22期生

卒業後30年以上経ちますが、いまだに羽田空港を降り都心へ向かう京急の窓から母校を望みます。そんな私も中間管理職。とはいえ現場主義の私は若手社員に負けじと汗を流す毎日です。一つ残念なのは、母校の生徒が何十年も入社していないことです。

中原 規博	福岡県
音響芸術科	平成10年卒業 第16期生

懐かしくて、お手紙を書かせていただきます。蒲田での思い出は、今でも心の中にあります。

佐藤 博治	徳島県
放送技術部	昭和38年卒業 第8期生

編集が! 台本が放送に間に合わない! 今でもこんな夢をよく見ます。現役時代の性、哀しい思い出です。退職し6年、今は本当にのんびりと過ごしています。一年を通してのゴルフ、冬のスキー、残された少ない時間を大いに楽しんでいます。

小林 理枝	福井県
演劇俳優科	平成18年卒業 第29期生

福井へ帰ってきて早3年。東京が恋しいですが、仕事を頑張り、五輪までには行きやすいことを願っています。新幹線早く福井に来て～!

南 利幸	岩手県
電気工学科	昭和53年卒業 第14期生

5年前の東日本大震災、今回の台風10号の豪雨と立て続けて甚大な災害が起こりました。幸いにもどちらも私の所は直接被害はありませんでした。目と鼻の先では、死亡者が出るほどの大惨事でした。校友会の皆さんも普段から自分の身の回りに注意して安全に生活をしてください。

大西 俊雄	愛媛県
電気工学科	昭和53年卒業 第15期生

恩師柴山先生の「知識・技術は生涯役に立つ」卒業時のコメントです。その思いを抱き、「エネルギー管理士(電気分野)」及び「電験二種」並びに「剣道七段」等の国家試験に挑戦し、「合格」をめざし、現在10年以上経過しました。昨年「古稀」となり、ラストパート頑張ります。ちなみに上記2項目は部分合格し、3項はA評価を頂きました。常に目標に向かって前進しようと思います。

樋口 智久	島根県
放送制作芸術科	平成5年卒業 第17期生

島根県益田市の自動車学校Mランドで働いています。年に1回Mランドまつりがあり、かまた祭を思い出します。

長田 静雄	山梨県
放送技術部	昭和38年卒業 第9期生

(株)OKIを14年前に退職して、今では大月市の青少年育成市民会議の役員をしています。あとは防災と防犯のボランティアなどで過ごしています。

内藤 和仁	山梨県
電子工学科	昭和47年卒業 第26期生

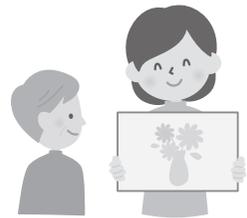
平成23年に定年退職して、自家で農業をしています。

東 直之	愛知県
CAD設計製図科	昭和62年卒業 第15期生

人生の折り返し点を過ぎて、残りのサラリーマン人生を考える年齢となりました。今でも蒲田を通ると一気に若い気持ちになります。

朝日 教仁	愛知県
テレビ専門部	昭和45年卒業 第15期生

家内(彼女も同窓生です)が、4回目の日展入選を果たしました。これも亭主の献身的バックアップのおかげです!



柏木 寛仁	熊本県
電気工学科	昭和57年卒業第19期生

熊本地震は大変でしたが、良い体験でもあったと思います。今後の生活に対する考え方が変わったと思います。これから何が起こるか分からないので、それに備える対応力が身についたと思います。

小森田 真由	熊本県
インターネット科	平成12年卒業 第2期生

地震で築2年の家が傾き、大変怖い思いもしましたが、工学院時代の友人からLINEや食料、見舞金などたくさんいただき、人の温かさに感動しました。

会員からのお便りでした! これからもたくさんのお便りお待ちしております!

心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

竹内 啓自さん 昭和32年 テレビ科 18期卒業 平成27年 8月6日没
片岡 公夫さん 昭和36年 研究科 31期卒業 平成28年 1月19日没
杉村 清さん 昭和36年 放送技術部 5期卒業 平成27年 9月没
澁定 隆さん 昭和51年 テレビ放送技術科 26期卒業 平成28年没
長尾 久義さん 昭和50年 ハードウェア科 7期卒業 平成28年 1月20日没
篠塚 正二さん 昭和48年 サービス技術科 13期卒業
平山 幸雄さん 昭和50年 電気工学科 8期卒業 平成28年 3月没
武政 栄造さん 昭和48年 電気工学科 4期卒業 平成24年11月6日没
南澤 正雄さん 昭和48年 電気工学科 4期卒業 平成22年没
秋場 孝一さん 昭和50年 電気工学科 8期卒業
小林 務さん 昭和53年 電気工学科 14期卒業
新館 良次さん 昭和46年 電子工学科 24期卒業 平成28年 5月24日没
松本 博司さん 昭和48年 電子工学科 28期卒業
小嶋 敏郎さん 昭和49年 電子工学科 31期卒業
海老沢 久さん 昭和58年 電子工学科 44期卒業

志田 淳一さん 昭和63年 電子工学科 49期卒業 平成23年10月23日没
村松 稔さん 昭和55年 情報技術科 12期卒業 平成27年10月27日没
鈴木 哲弘さん 昭和61年 情報技術科 18期卒業
荒井 正志さん 昭和60年 メカロニクス科 1期卒業 平成28年没
田中 裕之さん 昭和62年 メカロニクス科 3期卒業 平成28年没
坂東 隆史さん 平成元年 メカロニクス科 5期卒業 平成9年10月5日没
菊池 菜美子さん 平成12年 環境科学科 27期卒業 平成27年11月22日没
薬師寺 藤雄さん 昭和47年 ソフトウェア科1年制 10期卒業 平成28年 7月18日没
宇梶 恵一郎さん 昭和56年 情報処理科1年制 25期卒業 平成27年10月25日没
岩森 敏之さん 昭和59年 情報処理科1年制 28期卒業 平成28年 5月16日没
坪 正人さん 昭和58年 音響芸術科 1期卒業 平成27年 9月没
大中 宰さん 平成16年 マルチメディア科 8期卒業 平成28年 6月29日没
山口 典之さん 平成20年 ゲーム科三年制 1期卒業
渡辺 啓太さん 平成24年 ゲーム科1年制 7期卒業 平成27年 5月30日没
山元 由美子さん 昭和61年 医用電子工学科 3期卒業 平成23年 3月3日没

片柳理事長「旭日小綴章」受章 表2
 表紙のこぼし 名誉顧問 片柳 鴻 表2
 校友会会長 桂田 忠明 1
 日本工学院専門学校 学校長 千葉 茂 2

校友会だより
 第28回通常総会報告 3
 「校友会ラウンジ」利用規定 6

平成28年度支部会員の集い
 岩手県支部／福島県支部 7
 栃木県支部／群馬県支部 8
 福井県支部／山梨県支部 9
 愛知県支部／兵庫県支部 10
 鳥取県支部／島根県支部／徳島県支部 11
 香川県支部／愛媛県支部 12
 高知県支部／福岡・佐賀県支部 13
 長崎県支部／熊本県支部 14
 宮崎県支部 15
 平成29年度支部事業 支部会員の集い開催予定 16

片柳学園創立70周年／校友会設立50周年
 各支部長からの祝辞 17

平成28年度 会員の集い「講演会報告」 24

日本工学院ニュース
 平成28年度卒業証書授与式 40
 平成29年度入学式 40
 第51回かまた祭 41
 第48回体育祭 41
 第52回 かまた祭のお知らせ 42
 「かまた祭 会員の集い」のお知らせ 43
 校友会Facebookのご案内 44
 ソーシャルメディアポリシー 45
 キャリアサポートセンターからの報告 46
 写真でみる 校舎の変遷 47
 蒲田校 学科の変遷 48
 片柳アリーナ完成記念公演開催! 52
 「日本工学院卒業展2017」開催しました! 52

校友・交遊 集まっています!
 ～先生から一言～ 学科から卒業生へ 54
 教職員退職者報告 56
 日本工学院専門学校 教員募集のお知らせ 56
 入学免除制度 57
 かまた題字作家紹介 58
 個人情報保護についての取組み 58
 ～会員近況メッセージ～ お元気ですか? 59
 「再入学優遇制度」のお知らせ 67
 学校法人片柳学園創立70周年記念奨学金について 69
 学校法人片柳学園 各学校のご案内 表4

学校法人 片柳学園

日本工学院専門学校 校友会誌

かまた No.53

平成29年8月31日発行

●お問い合わせ

校友会事務局

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL. 03-3732-8183 FAX. 03-3732-1576

校友会ホームページ <http://www.kouyukai.net> メールアドレス koyukai@stf.neec.ac.jp



日本工学院

片柳学園 創立70周年記念奨学金

日本工学院は、学校法人創立70周年記念として、社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金(6タイプ)を給付します。 ※対象：2018年度入学生

	プラン	対象者	給付額	定員 ^{※6}	審査	採用試験(二次審査)日 (申請受付期間)
新卒者 (2018年3月高等学校卒業見込みの方) または卒業後1年以内の方 向け	成績優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・高等学校の評定平均値4.0以上 ・高等学校3年間の欠席日数が7日以内の方 ・高等学校の先生の推薦のある方	50万円 1年次後期20万円 2年次前期30万円 ※5	100名	一次審査 ・書類審査 二次審査 ・筆記試験 (一般常識・小論文) ・面接試験	受験場所：入学希望校 8/19日 (2017/7/10～8/1) ※7 就学支援奨学金 留学生特待生 を除く
	課外活動 優秀者 特待生	次のすべてを満たす方 ・課外活動における優秀な成績を修めた方(次の①～③のいずれか) ①高等学校文化連盟や体育連盟等所属のクラブ活動の大会で所定の成績を修めた方 ②高等学校が①相当以上と認める大会等で優秀な成績を修めた方 ③本校主催のコンテスト等で上位に入選した方 ・高等学校の先生の推薦のある方	30万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※5	100名		9/9日 (8/21～9/1) ※8
	資格 特待生	次のすべてを満たす方 ・本校所定の資格を1つ以上取得した方(実用英語技能検定2級以上、実用数学技能検定2級以上、日本漢字能力検定2級以上、TOEIC400点以上、その他工業系資格、商業系資格ほか ※3) ・高等学校の先生の推薦のある方	10万円 1年次後期	100名		10/21日 (10/2～12) 留学生特待生 を除く 11/18日 (10/19～11/9) 留学生特待生 は10/12～11/9
既卒者 ^{※1} 向け	再進学 特待生 再チャレンジ応援 学び直し優遇制度	高等学校を卒業した方 本校以外の専門学校を卒業した方 短期大学を卒業した方 大学を卒業した方 社会人の方	30万円 1年次後期20万円 2年次前期10万円 ※5	200名	一次審査 ・書類審査 二次審査 ・筆記試験 (日本語能力・作文) ・面接試験	1/20日 (12/7～2018/1/11) 留学生特待生 は12/14～1/11 (12/25～1/4を除く)
			42万円 入学時20万円 ※4 1年次後期22万円			2/10日 (1/18～2/1) 3/3日 (2/8～22)
留学生 向け	留學生 特待生	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校に在籍し出席率90%以上で、かつ次の①～④のいずれかに該当する方 日本語学校在籍者以外で、次の①～③のいずれかに該当する方 ①日本語能力試験1級(N1)合格者 ②日本語試験(EJU)260点以上取得者 ③国内あるいは外国の大学を卒業した方(学士取得者) ④上記と同等の能力があると、日本語学校の校長先生が認める方	36万円 入学時20万円 2年次前期16万円 ※5	100名	一次審査 ・書類審査 二次審査 ・筆記試験 (日本語能力・作文) ・面接試験	受験場所：本校以外 ※9 留学生特待生 を除く 9/2日 3回 (2017/7/24～8/21) ※7 11/25日 26回 (10/26～11/16) 2/3日 4回 (2018/1/9～18)

※1 高等学校卒業生、文部科学省高校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校3年以上修了者、本校校長が認める学校を卒業した方。
 ※2 専門学校の授業料等の負担軽減を支援する文部科学省の制度(計画中)により、国からプラスの補助を受けられる場合があります。
 ※3 その他の資格は「片柳学園創立70周年記念奨学金要項」をご覧ください。
 ※4 就学支援奨学金に採用された方は、初年度学費の分納(月払い)が選択できます。
 ※5 2年次の給付可否は、進級時に再度審査のうえ決定します。
 ※6 定員に達し次第、締め切ります。
 ※7 AO入試エントリーの方のみ対象。
 ※8 AO入試エントリーの方、既卒の方および留学生のみ対象。
 ※9 開催地は「片柳学園創立70周年記念奨学金要項」をご覧ください。

注意
 ●学業・人物ともに優秀な方を対象とします。
 ●奨学金給付審査料は無料です。ただし、推薦入学、一般入学、AO入学の選考料は、二年制学科 20,000円、三・四年制学科 25,000円です。
 ●採用試験結果により採用・不採用を決定します。 ●給付方法は、学費納入金からの減額です。
 ●休学または退学等をする場合は、給付額を返還していただきます。
 ●本校の他の特待生制度および再入学優遇制度との併用(併給)はできません。ただし、片柳学園入学免除制度、片柳学園奨学金制度との併給は可能です。
 ●申請方法・その他の詳細は、「片柳学園創立70周年記念奨学金要項」でご確認ください。

楽しく学んで、しっかり就職。

日本工学院専門学校
 ☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

日本工学院
 ☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジーカレッジ 医療・保育カレッジ スポーツカレッジ

片柳学園 創立70周年記念 奨学金要項
 のご請求は、左記フリーダイヤルまで。